

奥多摩町次世代育成支援行動計画に係る  
アンケート調査報告書

平成21年3月

奥 多 摩 町

## 目 次

1 . 調査の概要	1
2 . 就学前児童調査・就学児童調査共通設問	2
3 . 就学前児童調査	2 4
4 . 就学児童調査	3 9
5 . 中高生調査	4 5
6 . 付属資料 ( 調査票 )	6 4

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

次世代育成支援行動計画の策定にあたり、その基礎資料として、子育て状況や保育サービス等のニーズを把握するために実施しました。

### (2) 調査方法及び調査結果

調査対象：就学前児童（126人）、就学児童（147人）、中高生（240人）への悉皆（全数）調査。

調査期間：平成20年12月11日～12月18日

調査方法：郵便等による配布・回収（就学前児童及び就学児童）  
学校での配布・回収及び郵便での配布・回収（中高生）

調査結果：就学前児童 配布票数 126 / 回収票数 83 / 回収率 65.9%  
就学児童 配布票数 147 / 回収票数 108 / 回収率 73.5%  
中高生 配布票数 240 / 回収票数 159 / 回収率 66.3%

### (3) 集計上の留意点

回答率（割合）は、小数点第二位を四捨五入して小数点第一位までを表記しました。  
このため、合計が100%にならないことがあります。  
複数回答の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。

## 2. 就学前児童調査・就学児童調査共通設問

### (1) お子さんご家族の状況

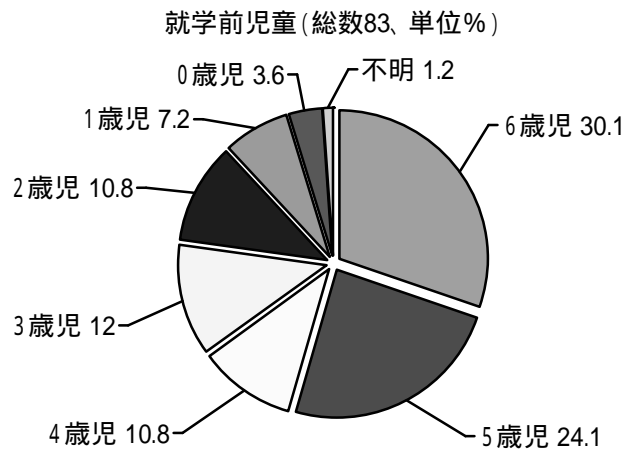
#### 問1 子どもの生年(年度集計)

子どもの生年については、年度集計を行い、就学前児童については0歳児～6歳児、就学児童については1年生～6年生の区分で集計を行いました。

就学前児童については4歳児以下、就学児童については2～3年生が比較的少なく、少子化の影響を垣間見ることができます。

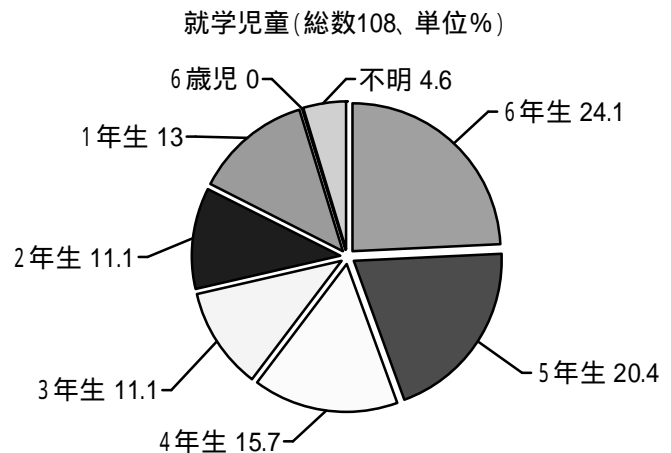
#### [ 就学前児童 ]

カテゴリ	件数	比率(%)
6歳児	25	30.1
5歳児	20	24.1
4歳児	9	10.8
3歳児	10	12.0
2歳児	9	10.8
1歳児	6	7.2
0歳児	3	3.6
不明	1	1.2
合計	83	100.0



#### [ 就学児童 ]

カテゴリ	件数	比率(%)
6年生	26	24.1
5年生	22	20.4
4年生	17	15.7
3年生	12	11.1
2年生	12	11.1
1年生	14	13.0
6歳児	0	0.0
不明	5	4.6
合計	108	100.0



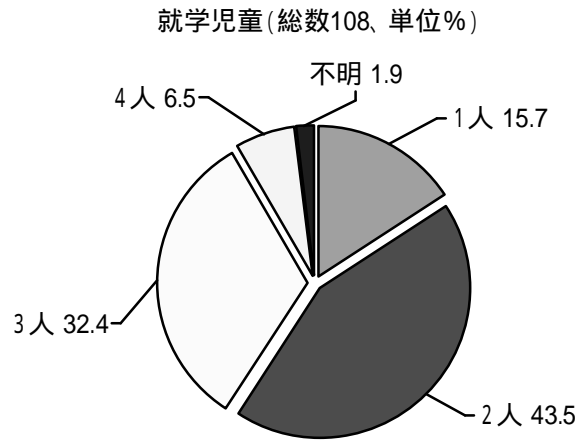
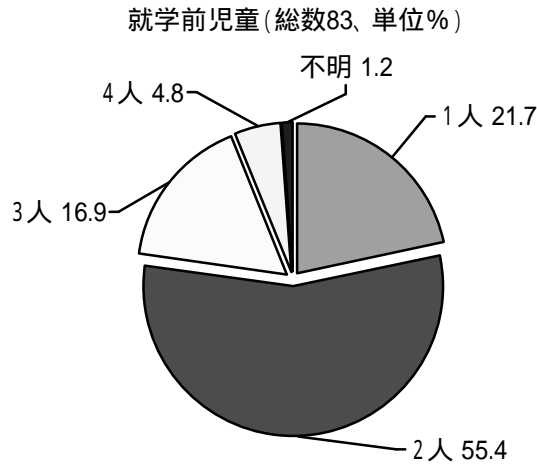
#### 問2 子どもの数、末子の年齢

子どもの数については、就学前児童、就学児童ともに2人が最も多くなっています。また、就学児童では3人も比較的多くなっています。

#### [ 子どもの数 ]

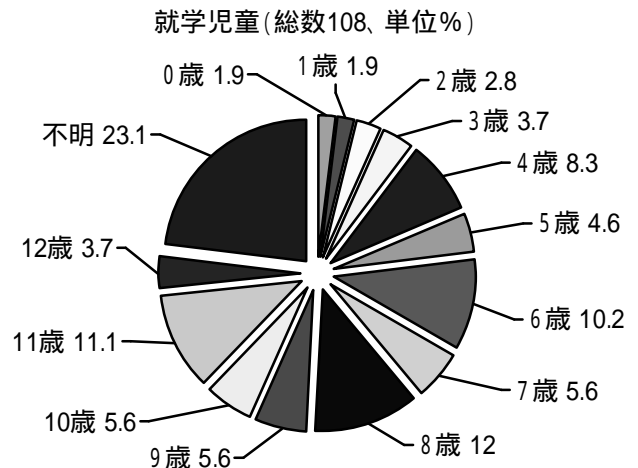
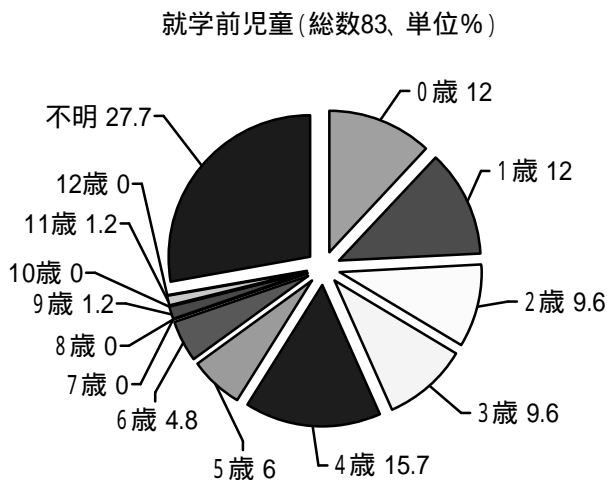
カテゴリ	就学前児童 件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1人	18	21.7	17	15.7
2人	46	55.4	47	43.5
3人	14	16.9	35	32.4
4人	4	4.8	7	6.5
不明	1	1.2	2	1.9
合計	83	100.0	108	100.0

末子の年齢については、就学前児童については、4歳のほか、1歳、0歳など低年齢児が多く、就学児童については、8歳、11歳、6歳などが多くなっています。



[ 末子の年齢 ]

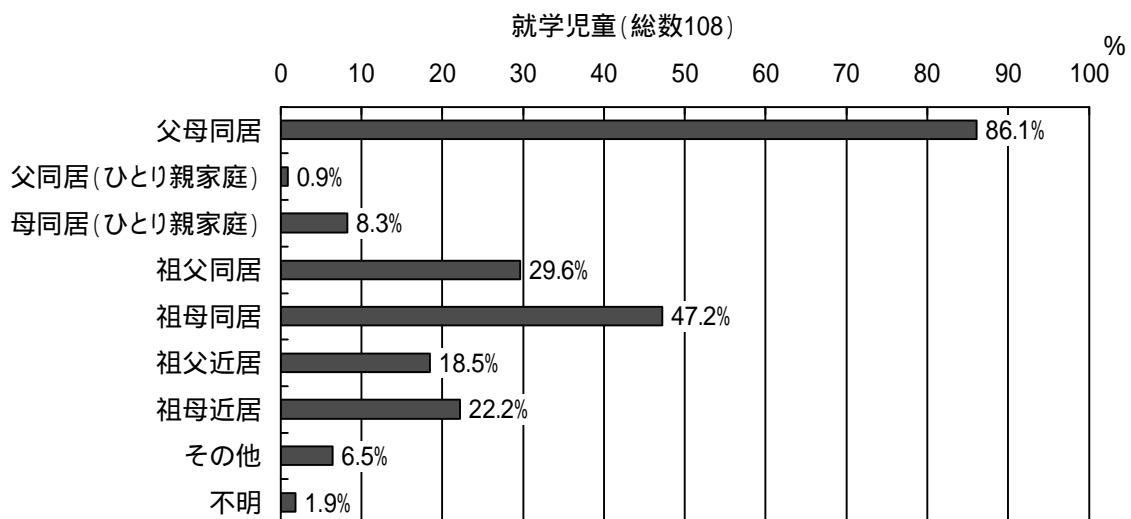
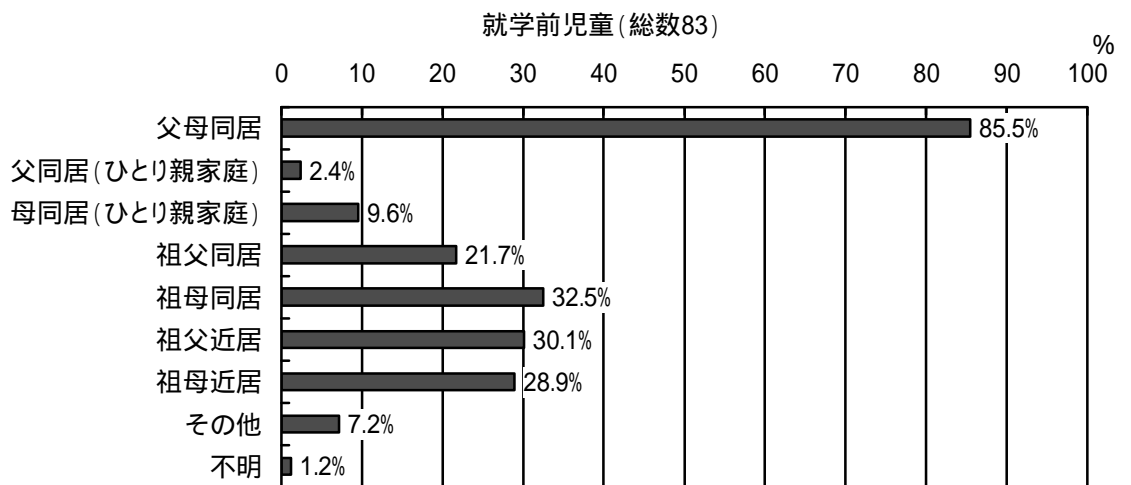
カテゴリ	就学前児童 件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
0歳	10	12.0	2	1.9
1歳	10	12.0	2	1.9
2歳	8	9.6	3	2.8
3歳	8	9.6	4	3.7
4歳	13	15.7	9	8.3
5歳	5	6.0	5	4.6
6歳	4	4.8	11	10.2
7歳	0	0.0	6	5.6
8歳	0	0.0	13	12.0
9歳	1	1.2	6	5.6
10歳	0	0.0	6	5.6
11歳	1	1.2	12	11.1
12歳	0	0.0	4	3.7
不明	23	27.7	25	23.1
合計	83	100.0	108	100.0



問3 同居・近居の状況（複数回答）

父母、祖父母の同居や近居（概ね30分程度で行き来できる距離）の状況は、就学前児童については、父母同居が85.5%、祖父や祖母と同居するものはあわせて54.2%となっており、ひとり親家庭はあわせて12.0%となっています。就学児童については、父母同居が86.1%、祖父同居、祖母同居があわせて76.8%で就学前児童の場合よりも高く、ひとり親家庭はあわせて9.2%となっています。

カテゴリ	就学前児童 件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
父母同居	71	85.5	93	86.1
父同居（ひとり親家庭）	2	2.4	1	0.9
母同居（ひとり親家庭）	8	9.6	9	8.3
祖父同居	18	21.7	32	29.6
祖母同居	27	32.5	51	47.2
祖父近居	25	30.1	20	18.5
祖母近居	24	28.9	24	22.2
その他	6	7.2	7	6.5
不明	1	1.2	2	1.9
総数	83	100.0	108	100.0



問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人（複数回答）

子どもを預かってもらえる人については、就学前児童については、「緊急時に祖父母」が61.4%で最も多く、「日常的に祖父母」も34.9%と多くなっています。就学児童についても、「緊急時に祖父母」が50.0%、「日常的に祖父母」が41.7%と多くなっています。なお、預かり先がない人は就学前児童、就学児童それぞれ1割弱となっています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	29	34.9	45	41.7
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	51	61.4	54	50.0
日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	3	3.6	14	13.0
緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	16	19.3	27	25.0
いずれもない	8	9.6	9	8.3
不明	0	0.0	1	0.9
総数	83	100.0	108	100.0

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況（複数回答）

祖父母に預かってもらっている状況については、「問題なし」が就学前児童で55.4%、就学児童で72.4%であり、就学児童の方がより支援を受けやすい状況にあります。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない	46	55.4	63	72.4
祖父母の身体的負担が大きく心配である	14	16.9	15	17.2
祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	17	20.5	14	16.1
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	19	22.9	21	24.1
その他	4	4.8	1	1.1
不明	14	16.9	2	2.3
総数	83	100.0	87	100.0

問4-2 友人・知人に預かってもらっている状況（複数回答）

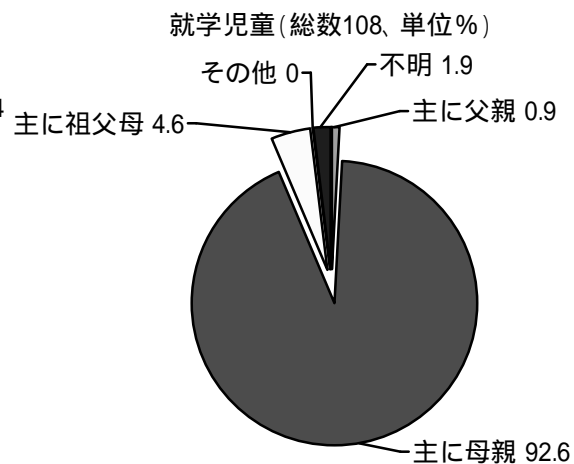
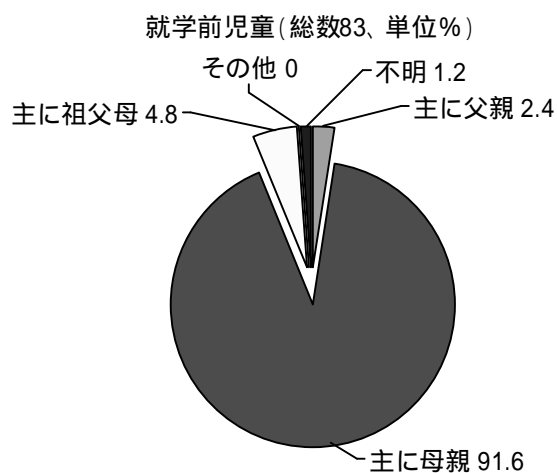
友人・知人に預かってもらっている状況については、「問題なし」は就学前児童で6.0%、就学児童で47.1%となり、小さい子どもほど、預けるのは困難な状況にあることが推測されます。

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童 件数	比率(%)
友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない	5	6.0	16	47.1
友人や知人の身体的負担が大きく心配である	0	0.0	2	5.9
友人や知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	7	8.4	6	17.6
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	6	7.2	7	20.6
その他	0	0.0	1	2.9
不明	69	83.1	7	20.6
合計	83	100.0	34	100.0

問5 お子さんの身の回りの世話をしている人

子どもの身の回りの世話をしている人は、「母親」が就学前児童 91.6%、就学児童 92.6% となっています。

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
主に父親	2	2.4	1	0.9
主に母親	76	91.6	100	92.6
主に祖父母	4	4.8	5	4.6
その他	0	0.0	0	0.0
不明	1	1.2	2	1.9
合計	83	100.0	108	100.0



**問6 居住地区**

居住地区は、就学前児童については、「古里地区」47.0%、「氷川地区」43.4%でこの2地区で90.4%となります。なお、「小河内地区」は4.8%となっています。就学児童については、「古里地区」52.8%、「氷川地区」41.7%でこの2地区で94.5%となり、2地区により集中する傾向がみられます。なお、「小河内地区」は3.7%となっています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
古里地区	39	47.0	57	52.8
氷川地区	36	43.4	45	41.7
小河内地区	4	4.8	4	3.7
不明	4	4.8	2	1.9
合計	83	100.0	108	100.0

(2) 両親の就労状況

**問7 保護者の方の就労状況**

父親

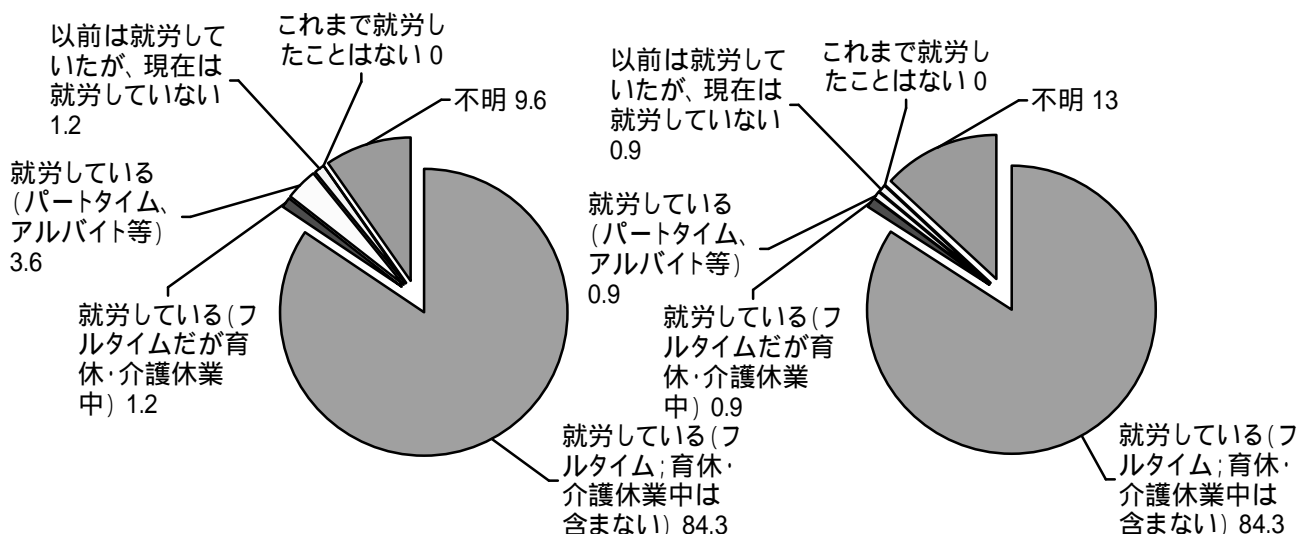
就労の有無

父親の就労状況は、就学前児童については、「フルタイムで現在就労中」が84.3%、就学児童についても、「フルタイムで現在就労中」が同じく84.3%で最も多くなっています。なお、それぞれ就労状況が不明の人が1割程度います。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
就労している(フルタイム; 育休・介護休業中は含まない)	70	84.3	91	84.3
就労している(フルタイムだが育休・介護休業中)	1	1.2	1	0.9
就労している(パートタイム、アルバイト等)	3	3.6	1	0.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	1	1.2	1	0.9
これまで就労したことはない	0	0.0	0	0.0
不明	8	9.6	14	13.0
合計	83	100.0	108	100.0

就学前児童(総数83、単位%)

就学児童(総数108、単位%)



就労時間・帰宅時間（フルタイムで現在就労中）

フルタイムで就労中の父親の1週間当たりの就労時間については、就学前児童で40～45時間が32.9%、45～50時間が24.3%、50～55時間が17.1%と多くなっており、就学児童でも、40～45時間が30.8%、45～50時間が20.9%、50～55時間が17.6%と多くなっています。なお、75～80時間（週6日としても1日13時間程度）の長時間就労の人もいます。

[ 就労時間 ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
10時間以上 15時間未満	0	0.0	0	0.0
15時間以上 20時間未満	0	0.0	1	1.1
20時間以上 25時間未満	0	0.0	0	0.0
25時間以上 30時間未満	0	0.0	0	0.0
30時間以上 35時間未満	0	0.0	0	0.0
35時間以上 40時間未満	1	1.4	0	0.0
40時間以上 45時間未満	23	32.9	28	30.8
45時間以上 50時間未満	17	24.3	19	20.9
50時間以上 55時間未満	12	17.1	16	17.6
55時間以上 60時間未満	1	1.4	3	3.3
60時間以上 65時間未満	4	5.7	9	9.9
65時間以上 70時間未満	1	1.4	1	1.1
70時間以上 75時間未満	1	1.4	2	2.2
75時間以上 80時間未満	2	2.9	2	2.2
80時間以上 85時間未満	0	0.0	0	0.0
不明	8	11.4	10	11.0
合計	70	100.0	91	100.0

帰宅時間については、就学前児童、就学児童ともに18時台（それぞれ、31.4%、30.8%）、19時台（同22.9%、27.5%）が多くなっています。このほか、23時台という遅い帰宅時間の人もいるほか、夜間勤務で早朝帰宅する人もみられます。

[ 帰宅時間 ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
早朝5時台	0	0.0	2	2.2
15時台	1	1.4	0	0.0
16時台	1	1.4	0	0.0
17時台	11	15.7	7	7.7
18時台	22	31.4	28	30.8
19時台	16	22.9	25	27.5
20時台	4	5.7	9	9.9
21時台	1	1.4	3	3.3
22時台	5	7.1	4	4.4
23時台	2	2.9	2	2.2
24時台	0	0.0	0	0.0
不明	7	10.0	11	12.1
合計	70	100.0	91	100.0

パートタイム・アルバイトの週当たり就労日数

パートタイム・アルバイトの1週間当たりの就労日数は、6日や5日という例がみられ、フルタイムと変わらない就労日数の状況となっています。

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1日	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	1	33.3	0	0.0
6日	2	66.7	1	100.0
7日	0	0.0	0	0.0
不明	0	0.0	0	0.0
合計	3	100.0	1	100.0

#### パートタイム・アルバイトの1日の就労時間

パートタイム・アルバイトの1日の就労時間は、8時間（就学前児童）、13時間（就学児童）の例がみられ、フルタイムと変わらない就労時間となっています。

#### [ 就学前児童 ]

#### [ 就学児童 ]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学 児童件数	比率(%)
2時間	0	0.0	12時間	0	0.0
3時間	0	0.0	13時間	1	100.0
4時間	0	0.0	14時間	0	0.0
5時間	0	0.0	不明	0	0.0
6時間	1	33.3	-	-	-
7時間	0	0.0	-	-	-
8時間	2	66.7	-	-	-
不明	0	0.0	-	-	-
合計	3	100.0	合計	1	100.0

#### フルタイムへの転換希望

パートタイム・アルバイトの人のフルタイムへの転換意向については、就学前児童については3人中2人、就学児童については1人中1人がその意向をもっています。

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
希望あり	2	66.7	1	100.0
希望なし	0	0.0	0	0.0
不明	1	33.3	0	0.0
合計	3	100.0	1	100.0

#### 母 親

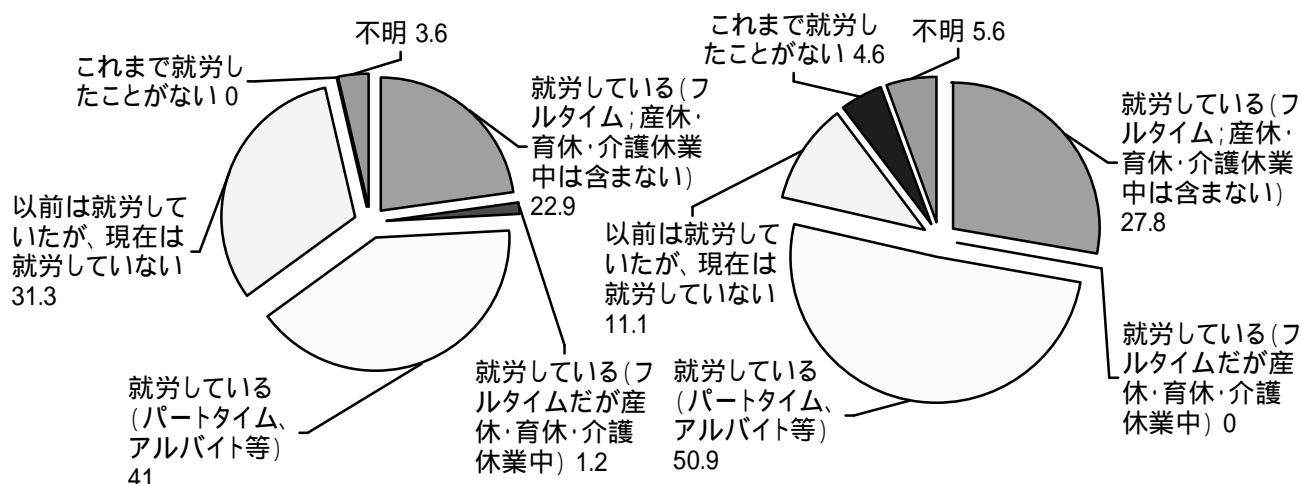
#### 就労の有無

母親の就労状況は、就学前児童については、「パートタイム・アルバイトで就労」が41.0%、「現在は就労していない」31.3%、「フルタイムで現在就労中」が22.9%、就学児童については、「パートタイム・アルバイトで就労」が50.9%、「フルタイムで現在就労中」が27.8%、「現在は就労していない」11.1%などが比較的多くなっており、就学児童の母親の方が、就労率が高くなる傾向がみられます。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
就労している(フルタイム;産休・育休・介護休業中は含まない)	19	22.9	30	27.8
就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)	1	1.2	0	0.0
就労している(パートタイム、アルバイト等)	34	41.0	55	50.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	26	31.3	12	11.1
これまで就労したことがない	0	0.0	5	4.6
不明	3	3.6	6	5.6
合計	83	100.0	108	100.0

就学前児童(総数83、単位%)

就学児童(総108、単位%)



### 就労時間・帰宅時間(フルタイムで現在就労中)

フルタイムで就労中の母親の1週間当たりの就労時間については、就学前児童で40～45時間31.6%、35～40時間21.1%、30～35時間15.8%などが比較的多くなっており、就学児童では、40～45時間56.7%、45～50時間10.0%などが比較的多くなっており、就学前児童の場合よりも若干長時間化しています。

### [ 就労時間 ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
20時間以上 25時間未満	0	0.0	1	3.3
25時間以上 30時間未満	1	5.3	0	0.0
30時間以上 35時間未満	3	15.8	1	3.3
35時間以上 40時間未満	4	21.1	2	6.7
40時間以上 45時間未満	6	31.6	17	56.7
45時間以上 50時間未満	1	5.3	3	10.0
50時間以上 55時間未満	1	5.3	2	6.7
55時間以上 60時間未満	0	0.0	0	0.0
60時間以上 65時間未満	1	5.3	1	3.3
65時間以上 70時間未満	0	0.0	0	0.0
70時間以上 75時間未満	0	0.0	1	3.3
不明	2	10.5	2	6.7
合計	19	100.0	30	100.0

帰宅時間については、就学前児童、就学児童ともに18時台(それぞれ、36.8%、43.3%)が最も多く、就学前児童では16・17時台や20時台が若干多いほか、就学児童では17時台、19時台、16時台が若干多くなっています。

[ 帰宅時間 ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
16時台	3	15.8	3	10.0
17時台	3	15.8	5	16.7
18時台	7	36.8	13	43.3
19時台	1	5.3	4	13.3
20時台	2	10.5	1	3.3
21時台	1	5.3	0	0.0
不明	2	10.5	4	13.3
合計	19	100.0	30	100.0

パートタイム・アルバイトの週当たり就労日数

パートタイム・アルバイトの1週間当たりの就労日数は、就学前児童、就学児童ともに5日が最も多く、3日、4日なども比較的多くなっています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1日	0	0.0	0	0.0
2日	1	2.9	3	5.5
3日	9	26.5	13	23.6
4日	7	20.6	11	20.0
5日	12	35.3	23	41.8
6日	3	8.8	1	1.8
不明	2	5.9	4	7.3
合計	34	100.0	55	100.0

パートタイム・アルバイトの1日の就労時間

パートタイム・アルバイトの1日の就労時間は、6時間(就学前児童32.4%、就学児童32.7%)が最も多く、5時間や7時間、4時間も比較的多くみられます。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
2時間	1	2.9	1	1.8
3時間	1	2.9	1	1.8
4時間	4	11.8	9	16.4
5時間	7	20.6	10	18.2
6時間	11	32.4	18	32.7
7時間	7	20.6	8	14.5
8時間	1	2.9	4	7.3
不明	2	5.9	4	7.3
合計	34	100.0	55	100.0

### フルタイムへの転換希望

パートタイム・アルバイトの人のフルタイムへの転換意向については、就学前児童については不明が82.4%で、希望なしが14.7%と比較的多くなっています。就学児童については希望なしが36.4%と比較的多くなっていますが、希望がある人は予定のない人もあわせて40.0%で、就学前児童に比べて多くなっています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
希望あり	1	2.9	8	14.5
			(予定はない)14	25.5
希望なし	5	14.7	20	36.4
不明	28	82.4	13	23.6
合計	34	100.0	55	100.0

### 問8 「現在は就労していない」「これまでに就労したことがない」母親の就労希望

現在就労していない、または、これまでに就労したことがない母親の今後の就労意向は、就学前児童については、子どもが大きくなったら就労したい人が57.7%、1年以内に就労したい人が34.6%で、あわせて9割以上の方が就労を希望しています。これに対し、就学児童については、就労希望があわせて52.9%で就学前児童の母親と比べて少なくなっています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
有(すぐにでも~1年以内に)	9	34.6	3	17.6
有(1年より先~子どもがある程度大きくなったら)	15	57.7	6	35.3
無	2	7.7	8	47.1
不明	0	0.0	0	0.0
合計	26	100.0	17	100.0

本表は(2)問7 母親 就労の有無の結果にあわせて再集計しています。

### 問8-1 希望する就労形態・パート等の場合の週当たり日数・日当たり時間

就労希望のある就学前児童の母親24人、就学児童の母親9人の希望する就労形態は、就学前児童では87.5%がパートタイム・アルバイトとなっていますが、就学児童では33.3%に留まっています。

パートタイム・アルバイトの場合の1週間当たりの就労希望日数は、就学前児童は3日が47.6%と多くなっていますが、就学児童は5日が66.7%を占めています。

また、パートタイム・アルバイトの場合の1日当たりの就労希望時間は、就学前児童、就学児童ともに5時間が最も多くなっています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
フルタイムによる就労	3	12.5	3	33.3
パートタイム、アルバイト等による就労	21	87.5	3	33.3
不明	0	0.0	3	33.3
合計	24	100.0	9	100.0

[パートタイム等の場合の週当たり日数]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1日	0	0.0	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	10	47.6	1	33.3
4日	4	19.0	0	0.0
5日	5	23.8	2	66.7
6日	0	0.0	0	0.0
不明	2	9.5	0	0.0
合計	21	100.0	3	100.0

[パートタイム等の場合の1日当たり時間]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
2時間	0	0.0	0	0.0
3時間	1	4.8	0	0.0
4時間	4	19.0	0	0.0
5時間	10	47.6	2	66.7
6時間	3	14.3	0	0.0
7時間	1	4.8	1	33.3
8時間	0	0.0	0	0.0
不明	2	9.5	0	0.0
合計	21	100.0	3	100.0

問 8 2 就労したいが、現在働いていない理由

就労したいが、現在働いていない理由としては、就学前児童では「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が20.8%で最も多く、「保育サービスが利用できれば就労したい」「家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない」という理由も少なくありません。就学児童でも「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が22.2%で最も多くなっています。

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童 件数	比率(%)
保育サービスが利用できれば就労したい	4	16.7	0	0.0
働きながら子育てできる適当な仕事がない	5	20.8	2	22.2
自分の知識、能力にあう仕事がない	1	4.2	1	11.1
家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない	4	16.7	1	11.1
その他	10	41.7	3	33.3
不明	0	0.0	2	22.2
合計	24	100.0	9	100.0

問 8-3 就労を希望する末子年齢

子どもがある程度大きくなったら就労したいという意向をもつ人の就労希望する末子の年齢は、就学前児童では3歳、就学児童では13歳が最も多くなっており、就労のタイミングが3歳頃と小学校卒業後の2つに分かれていることがわかります。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1歳	2	13.3	0	0.0
2歳	0	0.0	0	0.0
3歳	5	33.3	0	0.0
4歳	2	13.3	0	0.0
5歳	1	6.7	0	0.0
6歳	0	0.0	0	0.0
7歳	0	0.0	0	0.0
8歳	0	0.0	0	0.0
9歳	0	0.0	0	0.0
10歳	2	13.3	1	16.7
11歳	0	0.0	0	0.0
12歳	0	0.0	1	16.7
13歳	1	6.7	2	33.3
14歳	0	0.0	0	0.0
不明	2	13.3	2	33.3
合計	15	100.0	6	100.0

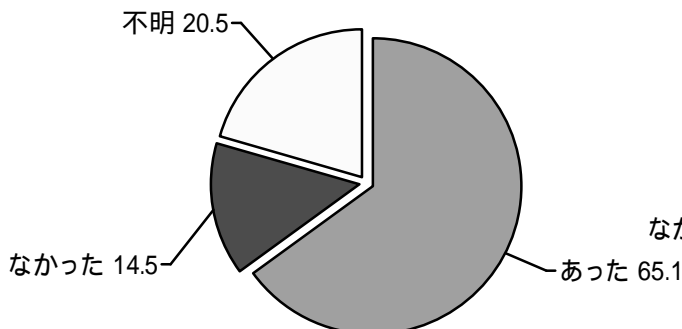
(3) 病児・病後児保育について

問 13(就学前児童) 問 11(就学児童) 子どもの病気やケガで保育サービスが利用できなかったり学校を休ませた経験の有無

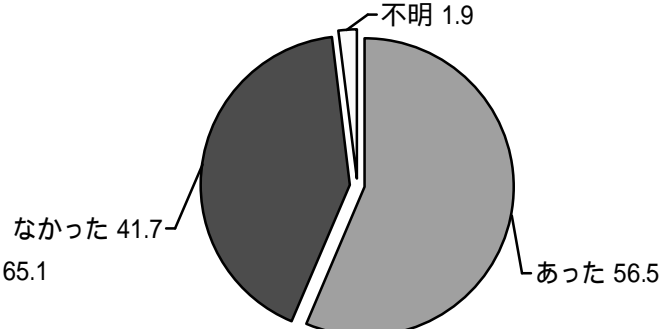
子どもの病気やケガで保育サービスを利用できなかったり、学校を休ませた経験については、就学前児童、就学児童とも半数以上(それぞれ65.1%、56.5%)があるとされています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
あった	54	65.1	61	56.5
なかった	12	14.5	45	41.7
不明	17	20.5	2	1.9
合計	83	100.0	108	100.0

就学前児童(総数83、単位%)



就学児童(総数108、単位%)



問 13 -1 (就学前児童) 問 11 -1 (就学児童) 休ませた時の対処方法・日数 (複数回答)

休ませた経験がある人の対処方法については、就学前児童、就学児童ともに、母親が休むことが最も多く、同居者を含む親族や知人に預けるケースや父親が休んだケース、就労していない保護者がみたケースなども比較的多くなっています。なお、就学児童に関しては、子どもだけで留守番をさせたケースも少なくありません。

それぞれの対処の日数をみると、母親や父親、就労していない保護者の場合は対処の日数が多くっており、近隣に親族や知人のいない家族を想定した支援が必要です。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
父親が休んだ	13	24.1	10	16.4
母親が休んだ	40	74.1	36	59.0
(同居者を含む)親族・知人に預けた	19	35.2	20	32.8
就労していない保護者がみた	12	22.2	11	18.0
病児・病後児の保育サービスを利用した(保育所・保育園で実施しているサービスを含む)	0	0.0	0	0.0
ベビーシッターを頼んだ	0	0.0	0	0.0
ファミリーサポートセンターにお願いした(地域住民による子どもの預かりサービス)	0	0.0	0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1.9	6	9.8
その他	2	3.7	4	6.6
不明	0	0.0	0	0.0
回答者数	54	100.0	61	100.0

[父親休んだ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	10	76.9	1日	1	10.0
6～10日	2	15.4	2日	2	20.0
11～15日	0	0.0	3日	1	10.0
16～20日	1	7.7	4日	0	0.0
21日～	0	0.0	-	-	-
不明	0	0.0	不明	6	60.0
合計	13	100.0	合計	10	100.0

[母親休んだ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	19	47.5	1日	3	8.3
6～10日	8	20.0	2日	0	0.0
11～15日	4	10.0	3日	2	5.6
16～20日	1	2.5	4日	0	0.0
21～25日	0	0.0	5日	2	5.6
26～30日	2	5.0	6～9日	0	0.0
31日～	1	2.5	10日	1	2.8
不明	5	12.5	不明	28	77.8
合計	40	100.0	合計	36	100.0

[ 親族・知人 ]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	11	57.9	1日	1	5.3
6～10日	5	26.3	2日	1	5.3
11～15日	0	0.0	3日	1	5.3
16～20日	0	0.0	4日	1	5.3
21～25日	1	5.3	5日	0	0.0
26日～	0	0.0	6日	1	5.0
不明	2	10.5	不明	15	75.0
合計	19	100.0	合計	20	100.0

就学児童については、回答者数にあわせて「不明」の数値を調整した。

[ 就労していない保護者 ]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	2	16.7	1日	0	0.0
6～10日	2	16.7	2日	1	9.1
11～15日	1	8.3	3日	0	0.0
16～20日	3	25.0	-	-	-
不明	4	33.3	不明	10	90.9
合計	12	100.0	合計	11	100.0

[ 子どもだけでいた ]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	1	100.0	1日	3	50.0
6～10日	0	0.0	2日	0	0.0
不明	0	0.0	不明	3	50.0
合計	1	100.0	合計	6	100.0

[ その他 ]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	2	100.0	0日	0	0.0
6～10日	0	0.0	1日以上	0	0.0
不明	0	0.0	不明	4	100.0
合計	2	100.0	合計	4	100.0

問 13-2 ( 就学前児童 ) 問 11-2 ( 就学児童 ) 父親・母親が休んだ・親族・知人に預けた人が施設に預けたい日数

父親あるいは母親が休んだ人や親族・知人に預けた人が施設に預けたい日数は、就学前児童については、1～5日が最も多くなっています。就学児童については、3～5日を希望しています。

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	15	32.6	1日	0	0.0
6～10日	3	6.5	2日	0	0.0
11～15日	1	2.2	3日	1	2.1
16～20日	0	0.0	4日	1	2.1
21～25日	1	2.2	5日	1	2.1
26～30日	0	0.0	6日	0	0.0
31～35日	1	2.2	-	-	-
不明	25	54.3	不明	44	93.6
合計	46	100.0	合計	47	100.0

(4)一時預かりについて

問 14 ( 就学前児童 ) 問 12 ( 就学児童 ) 子どもを一時的に預けた経験の有無・年間日数・理由・理由別日数

私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭等や親の病気、就労等のため、子どもを一時的に預けた経験については、就学前児童、就学児童ともに経験のある人が2割前後となっています。

預けた日数については、1～5日、6～10日などが多く日数的にはそれほど多くありませんが、101日や201日を超えるなど、多くの日数を預けた人もおり、特に、就学前児童について、一時預かりの需要が相対的に大きいことがわかります。

理由については、「私用」が就学前児童で12人、就学児童で4人、「冠婚葬祭・病気」が就学前児童で7人、就学児童で6人、「就労」が就学前児童で7人、就学児童で8人となり、就学前児童で「私用」、就学児童で「就労」が多くなっています。理由別には、「私用」や「冠婚葬祭・病気」で預ける日数は少ない状況ですが、「就労」に関連する一時的な預かりの日数が長期化する状況にあり、就労条件・状況に、利用している保育サービスが対応できていない状況が推測できます。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
ある	22	26.5	18	16.7
ない	58	69.9	88	81.5
不明	3	3.6	2	1.9
合計	83	100.0	108	100.0

[ 年間日数 ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1～5日	8	36.4	11	61.1
6～10日	4	18.2	3	16.7
11～15日	1	4.5	2	11.1
16～20日	2	9.1	0	0.0
21～25日	0	0.0	0	0.0
26～30日	2	9.1	0	0.0
31～40日	1	4.5	0	0.0
41～50日	0	0.0	1	5.6
51～100日	0	0.0	0	0.0
101～200日	0	0.0	1	5.6
201～300日	1	4.5	0	0.0
不明	3	13.6	0	0.0
合計	22	100.0	18	100.0

[ 内訳・私用 ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	3	13.6	1日	1	5.6
6～10日	6	27.3	2日	1	5.6
11～15日	1	4.5	3日	2	11.1
16～20日	1	4.5	4日	0	0.0
21～25日	0	0.0	-	-	-
26～30日	1	4.5	-	-	-
不明	10	45.5	不明	14	77.8
合計	22	100.0	合計	18	100.0

[ 内訳・冠婚葬祭・病気 ]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	6	27.3	1日	5	27.8
6～10日	0	0.0	2日	1	5.6
11～15日	0	0.0	3日	0	0.0
16～20日	0	0.0	-	-	-
21～25日	0	0.0	-	-	-
26～30日	1	4.5	-	-	-
31～35日	0	0.0	-	-	-
不明	15	68.2	不明	12	66.7
合計	22	100.0	合計	18	100.0

[ 内訳・就労 ]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5日	4	18.2	1～5日	2	11.1
6～10日	0	0.0	6～10日	2	11.1
11～100日	2	9.1	11～15日	2	11.1
101～200日	0	0.0	16～20日	0	0.0
201～300日	1	4.5	21～25日	0	0.0
-	-	-	26～30日	0	0.0
-	-	-	31～40日	0	0.0
-	-	-	41～50日	1	5.6
-	-	-	51～100日	0	0.0
-	-	-	101～150日	1	5.6
-	-	-	151～200日	0	0.0
不明	15	68.2	不明	10	55.6
合計	22	100.0	合計	18	100.0

問 15 ( 就学前児童 ) 問 13 ( 就学児童 ) 一時預かりの今後の利用希望の有無・月当たり日数

今後の一時預かりの利用については、就学前児童については18人、就学児童については5人が希望しており、1月当たり1日から数日利用したいという人が多くなっています。なお、月に10日という人(就学前児童1人)については、一時預かりとは異なるサービス提供の方法が必要といえます。

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1日	7	8.4	2	1.9
2日	5	6.0	1	0.9
3日	2	2.4	0	0.0
4日	3	3.6	0	0.0
5日	0	0.0	2	1.9
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10日	1	1.2	0	0.0
不明	65	78.3	103	95.4
合計	83	100.0	108	100.0

(5) 宿泊を伴う一時預かりについて

問 16 (就学前児童) 問 14 (就学児童) 子どもを泊まりがけで預けた経験の有無

泊まりがけで一時的に預けた経験については、就学前児童で 9 例 10.8%、就学児童で 6 例 5.6%があったとしています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
あった(預け先が見つからなかった場合を含む)	9	10.8	6	5.6
なかった	73	88.0	101	93.5
不明	1	1.2	1	0.9
合計	83	100.0	108	100.0

問 16 -1 (就学前児童) 問 14 -1 (就学児童) 対処方法(複数回答)・泊数

泊まりがけの一時預かりが必要となった時の対処方法としては、「同居者を含む親族・知人に預けた」が就学前児童で 8 例、9 割弱を占め、就学児童でも 5 例で 8 割超となっており、保育サービスの利用はみられません。なお、就学児童では「子どもだけで留守番」も 1 例みられます。

宿泊を伴う一時預かりの泊数については、就学前児童で 1～5 泊や 6～10 泊で若干多くみられ、就学児童では 1～5 泊の範囲となっています。なお、就学前児童で、51～60 泊というケースがみられますが、一時預かりではない対応が必要であるといえます。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
(同居者を含む)親族・知人に預けた	8	88.9	5	83.3
保育サービスを利用した	0	0.0	0	0.0
仕方なく子どもも同行させた	0	0.0	0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0	1	16.7
その他	0	0.0	0	0.0
不明	1	11.1	0	0.0
合計	9	100.0	6	100.0

[ 宿泊を伴う一時預かりが必要となった泊数(親族・知人に預けた泊数) ]

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1～5泊	3	33.3	1泊	1	16.7
6～10泊	3	33.3	2泊	2	33.3
11～15泊	0	0.0	3泊	1	16.7
16～20泊	1	11.1	4泊	0	0.0
21～30泊	0	0.0	5泊	1	16.7
31～40泊	0	0.0	6泊	0	0.0
41～50泊	0	0.0	-	-	-
51～60泊	1	11.1	-	-	-
不明	1	11.1	不明	1	16.7
合計	9	100.0	合計	6	100.0

問 16-2 (就学前児童) 問 14-2 (就学児童) 困難度

親族や知人に一時預かりをお願いすることの困難度については、「どちらかというと困難」がやや多く、「特に困難ではない」という声も含め、困難度はそれほど高くないといえますが、預けられる状況にある人が非常に少ないということも留意する必要があります。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
非常に困難	0	0.0	0	0.0
どちらかというと困難	5	62.5	2	40.0
特に困難ではない	2	25.0	2	40.0
不明	1	12.5	1	20.0
合計	8	100.0	5	100.0

(6) ベビーシッターの利用について

問 18 (就学前児童) 問 15 (就学児童) ベビーシッター利用の目的

ベビーシッターの利用は、就学前児童、就学児童ともに利用実績はありません。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
主たる保育サービスとして利用している	0	0.0	子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	0	0.0
保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)	0	0.0	祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	0	0.0
子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	0	0.0	親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	0	0.0
祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	0	0.0	その他の目的で利用している	0	0.0
親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	0	0.0	-	-	-
その他の目的で利用している	0	0.0	-	-	-
不明	83	100.0	不明	108	100.0
合計	83	100.0	合計	108	100.0

問 18-1 (就学前児童) 問 15-1 (就学児童) 利用頻度・月当たり日数・1回当たりの時間

ベビーシッターの利用は、就学前児童、就学児童ともに利用実績はありません。

問 16 (就学児童) ベビーシッター利用希望・月当たり日数

今後の利用希望については、就学児童について、月に3～4日の利用希望がみられます。

[ 就学児童におけるベビーシッター利用希望 ]

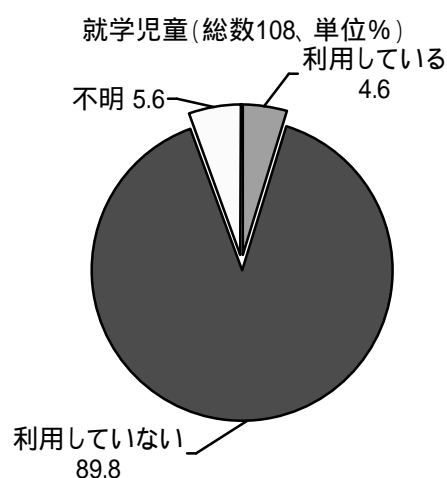
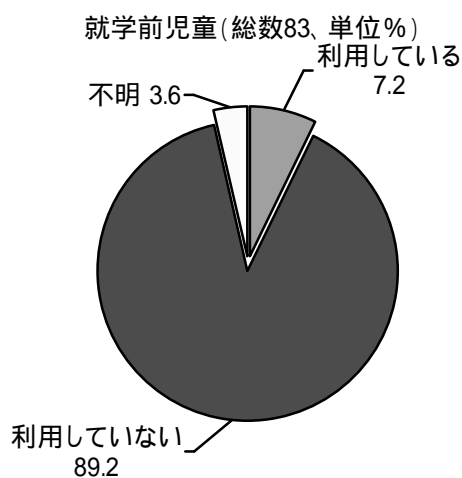
カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	1	0.9
4日	1	0.9
不明	106	98.1
合計	108	100.0

(7)ファミリーサポートセンターの利用について

問 19 ( 就学前児童 ) 問 17 ( 就学児童 ) ファミリーサポートセンター利用の有無

ファミリーサポートセンターの利用状況については、就学前児童で 7.2%、就学児童で 4.6%の利用率となっています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
利用している	6	7.2	5	4.6
利用していない	74	89.2	97	89.8
不明	3	3.6	6	5.6
合計	83	100.0	108	100.0



問 19 -1 ( 就学前児童 ) 問 17 -1 ( 就学児童 ) ファミリーサポートセンター利用目的 ( 複数回答 )

ファミリーサポートセンターの利用目的については、就学前児童で「保育施設等の利用で足りない時間を補う」「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用」などが、就学児童で「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用」「保育施設等の送り迎えに利用」のほか、「保育施設等の利用で足りない時間を補う」「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用」など多様な利用目的があげられています。

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件 数	比率(%)
主たる保育サービスとして利用している	0	0.0	0	0.0
保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)	2	33.3	2	40.0
子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	0	0.0	2	40.0
祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	2	33.3	3	60.0
親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	1	16.7	1	20.0
保育施設等の送り迎えに利用している	1	16.7	3	60.0
その他の目的で利用している	2	33.3	0	0.0
不明	0	0.0	0	0.0
総数	6	100.0	5	100.0

問 19-2(就学前児童)問 17-2(就学児童)ファミリーサポートセンターの利用頻度・月当たり日数・1回当たりの時間

ファミリーサポートセンターの1月当たりの利用日数については、就学前児童で、3日が2例のほか、1日、10日にそれぞれ1例みられます。就学児童については、1日が1例みられます。

1日当たりの利用時間は、就学前児童で2時間を中心として1～3時間程度の利用となっていますが、就学児童では6時間の利用がみられます。

[利用日数]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1日	1	16.7	1	20.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	2	33.3	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10日	1	16.7	0	0.0
不明	2	33.3	4	80.0
合計	6	100.0	5	100.0

[利用時間]

カテゴリ	就学前 児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1時間	1	16.7	0	0.0
2時間	2	33.3	0	0.0
3時間	1	16.7	0	0.0
4時間	0	0.0	0	0.0
5時間	0	0.0	0	0.0
6時間	0	0.0	1	20.0
7時間	0	0.0	0	0.0
不明	2	33.3	4	80.0
合計	6	100.0	5	100.0

問 19-3 (就学前児童) 問 17-3 (就学児童) ファミリーサポートセンターの利用時間希望・月当たり時間

ファミリーサポートセンター利用の時間希望は、就学前児童については、1月当たり10時間～15時間の希望が1人、就学児童については、1月当たり6時間の利用を希望しています。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	カテゴリ	就学児童件数	比率(%)
1時間以上5時間未満	0	0.0	5時間	0	0.0
5時間以上10時間未満	0	0.0	6時間	1	20.0
10時間以上15時間未満	1	16.7	7時間	0	0.0
不明	5	83.3	不明	4	80.0
合計	6	100.0	合計	5	100.0

問 19-4 (就学前児童) 問 17-4 (就学児童) 利用していない人が今後利用する場合の月当たり希望時間

ファミリーサポートセンターを利用していないが、今後利用する場合の1月当たりの時間は、就学前児童で、5～10時間が最も多く、1～5時間、10～15時間、15～20時間など幅広い利用時間ニーズがあり、就学児童でも、同様の傾向がみられます。

カテゴリ	就学前児童件数	比率(%)	就学児童件数	比率(%)
1時間以上5時間未満	3	4.1	1	1.0
5時間以上10時間未満	5	6.8	1	1.0
10時間以上15時間未満	2	2.7	0	0.0
15時間以上20時間未満	2	2.7	1	1.0
不明	62	83.8	94	97.0
合計	74	100.0	97	100.0

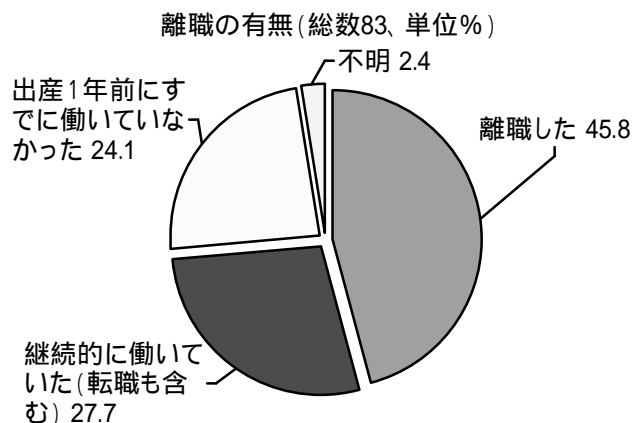
### 3 . 就学前児童調査

#### (1) 母親について

##### 問9 お子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）の離職の有無

出産前後1年以内の離職の有無については、離職した人が45.8%と半数近くを占めています。一方で、出産前後も継続的に働いていた人は27.7%と少なくありません。

カテゴリ	件数	比率(%)
離職した	38	45.8
継続的に働いていた(転職も含む)	23	27.7
出産1年前にすでに働いていなかった	20	24.1
不明	2	2.4
全体	83	100.0



##### 問9-1 (問9で離職した人) 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したか

出産前後に離職した人が、仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや就労環境、家庭環境などが整っていたら就労を継続したかどうかについては、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」という意見が多く、保育サービスだけでなく、事業所の協力が欠かせないことがわかります。

カテゴリ	件数	比率(%)
保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた	1	2.6
職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた	6	15.8
保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた	7	18.4
家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていれば継続して就労していた	3	7.9
いずれにしてもやめていた	19	50.0
その他	2	5.3
不明	0	0.0
全体	38	100.0

(2) 保育サービスの利用について

問 10 現在の保育サービスの利用の有無

現在、何らかの保育サービスを利用しているかどうかについては、全体の 77.1% が利用しているという状況にあります。

子どもの年齢別にみると、4 歳児の 100% をはじめ、3 ~ 6 歳児の保育サービス利用率が高くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
利用している	64	77.1
利用していない	19	22.9
不明	0	0.0
サンプル数(%ベース)	83	100.0

下段は比率(%)	合計	6 歳児	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	不明
合計	83 100.0	24 100.0	19 100.0	9 100.0	10 100.0	8 100.0	9 100.0	3 100.0	1 100.0
利用している	64 77.1	23 95.8	16 84.2	9 100.0	8 80.0	5 62.5	3 33.3	- -	- -
利用していない	19 22.9	1 4.2	3 15.8	- -	2 20.0	3 37.5	6 66.7	3 100.0	1 100.0

問 10-1 日頃、定期的にお子さんを預けるサービス(複数回答)

利用している保育サービスについては、90.6% が認可保育所となっています。このほか、ファミリーサポートセンターの利用も若干みられます。

カテゴリ	件数	比率(%)
認可保育所	58	90.6
家庭的な保育	0	0.0
事業所内保育施設	1	1.6
自治体の認証・認定保育施設	0	0.0
認定子ども園(共通利用時間)	1	1.6
認定子ども園(共通利用時間以上)	0	0.0
その他の保育施設	0	0.0
幼稚園(通常の就園時間)	1	1.6
幼稚園の預かり保育	0	0.0
ベビーシッター	0	0.0
ファミリーサポートセンター	4	6.3
不明	2	3.1
サンプル数(%ベース)	64	100.0

問 10-2 利用している子育て支援サービスの利用状況(週当たり日数・1日当たり時間・開始時間~終了時間)

保育サービスの週当たりの利用日数は、5 日が 80% 以上を占め、6 日が 20% 弱となっています。

保育サービスの 1 日当たりの時間は、8 時間が 34.4% で最も多く、7 時間が 23.0%、9 時間が 16.4%、6 時間が 13.1% などとなっています。

保育サービスの開始時間は、9時台が半数以上で、8時台が4割を超えています。また、終了時間は、17時台が39.3%、16時台23.0%、15時台21.3%となっています。

[ 週当たり日数・1日当たり時間 ]

カテゴリ	週当たり日数 件数	比率(%)	カテゴリ	1日当たり時 間件数	比率(%)
1日	0	0.0	5時間	0	0.0
2日	0	0.0	6時間	8	13.1
3日	0	0.0	7時間	14	23.0
4日	1	1.6	8時間	21	34.4
5日	49	80.3	9時間	10	16.4
6日	11	18.0	10時間	6	9.8
7日	0	0.0	11時間	1	1.6
不明	0	0.0	不明	1	1.6
合計	61	100.0	合計	61	100.0

[ 開始時間・終了時間 ]

カテゴリ	開始時間件数	比率(%)	カテゴリ	終了時間件数	比率(%)
7時台	2	3.3	15時台	13	21.3
8時台	27	44.3	16時台	14	23.0
9時台	32	52.5	17時台	24	39.3
-			18時台	10	16.4
不明	0	0.0	不明	0	0.0
合計	61	100.0	合計	61	100.0

問 10-3 保育サービスを利用している理由

保育サービスを利用している理由は、「就労している」が73.8%で最も多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
現在就労している	45	73.8
就労予定がある / 求職中である	3	4.9
家族・親族などを介護しなければならない	1	1.6
病気や障害を持っている	0	0.0
学生である	1	1.6
個別的な事情はないが、子どもの教育のため	5	8.2
その他	3	4.9
不明	3	4.9
合計	61	100.0

問 10-4 保育サービスを利用していない理由

保育サービスを利用していない理由は、「子どもがまだ小さい」が42.1%で最も多く、「必要がない」「祖父母や親戚の人がみている」なども比較的多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない	5	26.3
子どもの祖父母や親戚の人がみている	3	15.8
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0
預けたいが、保育サービスに空きがない	0	0.0
預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない	0	0.0
預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない	1	5.3
預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない	0	0.0
子どもがまだ小さいため	8	42.1
その他	0	0.0
不明	2	10.5
合計	19	100.0

### (3) サービスの利用希望について

#### 問 11 できれば利用したいサービス(複数回答)

できれば利用したいサービスとしては、病児・病後児保育、認可保育所、一時預かり、ファミリーサポートセンター、家庭的な保育などが比較的多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
認可保育所	19	22.9
家庭的な保育	6	7.2
事業所内保育施設	4	4.8
自治体の認証・認定保育施設	0	0.0
認定こども園(共通利用時間のみの利用)	4	4.8
認定こども園(共通利用時間以上の利用)	2	2.4
その他の保育施設	1	1.2
幼稚園	4	4.8
幼稚園の預かり保育	2	2.4
延長保育	7	8.4
ベビーシッター	1	1.2
ファミリーサポートセンター	9	10.8
一時預かり	17	20.5
病児・病後児保育	20	24.1
特にない	16	19.3
不明	14	16.9
総数	83	100.0

問 11 -1 認可保育所の週当たり希望日数

認可保育所利用の1週間当たりの希望日数は5日が多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
1日	0	0.0
2日	1	5.3
3日	0	0.0
4日	1	5.3
5日	10	52.6
6日	1	5.3
7日	0	0.0
不明	6	31.6
合計	19	100.0

日当たり希望時間

1日当たりの希望時間は8時間が多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
5時間	2	10.5
6時間	2	10.5
7時間	2	10.5
8時間	4	21.1
9時間	2	10.5
10時間	0	0.0
11時間	0	0.0
12時間	1	5.3
不明	6	31.6
合計	19	100.0

希望開始時間～終了時間

保育の開始時間は9時台、終了時間は15時台～17時台が多くなっています。

カテゴリ	開始時間件数	比率(%)	カテゴリ	終了時間件数	比率(%)
7時台	2	10.5	14時台	1	5.3
8時台	3	15.8	15時台	4	21.1
9時台	8	42.1	16時台	2	10.5
-	-	-	17時台	3	15.8
-	-	-	18時台	1	5.3
-	-	-	19時台	1	5.3
-	-	-	20時台	1	5.3
不明	6	31.6	不明	6	31.6
合計	19	100.0	合計	19	100.0

### 延長保育の週当たり希望日数

延長保育利用の1週間当たりの希望日数は、認可保育所同様5日が多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	0	0.0
4日	0	0.0
5日	3	42.9
6日	1	14.3
不明	3	42.9
合計	7	100.0

### 日当たり希望時間

1日当たりの希望時間は10時間が2例となっており、通常の保育時間が11時間ですので適正な時間と考えられます。

カテゴリ	件数	比率(%)
6時間	0	0.0
7時間	1	14.3
8時間	0	0.0
9時間	0	0.0
10時間	2	28.6
11時間	0	0.0
12時間	1	14.3
13時間	0	0.0
不明	3	42.9
合計	7	100.0

### 希望開始時間～終了時間

保育の開始時間は7時台から、終了時間は19時台までが多くなっています。

カテゴリ	開始時間件数	比率(%)	カテゴリ	終了時間件数	比率(%)
7時台	1	14.3	16時台	1	14.3
8時台	1	14.3	17時台	0	0.0
9時台	1	14.3	18時台	1	14.3
-	-	-	19時台	2	28.6
-	-	-	20時台	0	0.0
不明	4	57.1	不明	3	42.9
合計	7	100.0	合計	7	100.0

### 家庭的な保育の週当たり希望日数

家庭的な保育利用の1週間当たりの希望日数は1日が2例となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
1日	2	33.3
2日	0	0.0
不明	4	66.7
合計	6	100.0

### 日当たり希望時間

1日当たりの希望時間は3時間、10時間がそれぞれ1例となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
2時間	0	0.0
3時間	1	16.7
4時間	0	0.0
5時間	0	0.0
6時間	0	0.0
7時間	0	0.0
8時間	0	0.0
9時間	0	0.0
10時間	1	16.7
11時間	0	0.0
不明	4	66.7
合計	6	100.0

### 希望開始時間～終了時間

保育の開始時間は8時台、17時台、終了時間は18時台、20時台となっており、1日当たりの希望時間とあわせ考えると、朝から夕方までの長時間利用、夕方から夜までの短時間利用のニーズがあることがわかります。

カテゴリ	開始時間件数	比率(%)	カテゴリ	終了時間件数	比率(%)
7時台	0	0.0	17時台	0	0.0
8時台	1	16.7	18時台	1	16.7
9時台	0	0.0	19時台	0	0.0
10時台	0	0.0	20時台	1	16.7
11時台	0	0.0	21時台	0	0.0
12時台	0	0.0	-	-	-
13時台	0	0.0	-	-	-
14時台	0	0.0	-	-	-
15時台	0	0.0	-	-	-
16時台	0	0.0	-	-	-
17時台	1	16.7	-	-	-
不明	4	66.7	不明	4	66.7
合計	6	100.0	合計	6	100.0

問 11-2 保育サービスを利用したい理由

保育サービスを利用したい理由は、「就労しているため」という人が33.3%で最も多くを占めています。このほか、「就労予定・求職中」、「子どもの教育のため」という理由が比較的多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
現在就労している	11	33.3
現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい	2	6.1
就労予定がある / 求職中である	7	21.2
そのうち就労したいと考えている	2	6.1
就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい	6	18.2
家族・親族などを介護しなければならない	0	0.0
病気や障害を持っている	0	0.0
学生である / 就学したい	1	3.0
その他	3	9.1
不明	1	3.0
合計	33	100.0

(4) 土・休日の保育について

問 12 土曜日と日曜日・祝日の保育サービス利用希望

土曜日 希望時間帯

土曜日の保育サービスの利用について、利用希望なしが半数を超えていますが、月に1～2回の利用を希望する人も比較的多く、利用希望者はあわせて4割程度を占めています。

保育の開始時間は9時台、8時台が多く、終了時間は17時台を中心に、16時台、18時台などが多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
ほぼ毎週利用したい	12	14.5
月に1～2回は利用したい	21	25.3
利用希望はない	45	54.2
不明	5	6.0
合計	83	100.0

カテゴリ	開始時間件数	比率(%)	カテゴリ	終了時間件数	比率(%)
7時台	3	9.1	11時台	1	3.0
8時台	13	39.4	12時台	0	0.0
9時台	14	42.4	13時台	0	0.0
10時台	2	6.1	14時台	2	6.1
-	-	-	15時台	5	15.2
-	-	-	16時台	7	21.2
-	-	-	17時台	10	30.3
-	-	-	18時台	6	18.2
-	-	-	19時台	1	3.0
不明	1	3.0	不明	1	3.0
合計	33	100.0	合計	33	100.0

**日曜日・祝日 希望時間帯**

日曜日や祝日については、利用希望はあわせて2割程度と少なくなっています。  
開始時間は8時台・9時台、終了時間は17時台、18時台が比較的多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
ほぼ毎週利用したい	3	3.6
月に1～2回は利用したい	14	16.9
利用希望はない	61	73.5
不明	5	6.0
合計	83	100.0

カテゴリ	開始時間件数	比率(%)	カテゴリ	終了時間件数	比率(%)
7時台	0	0.0	11時台	1	5.9
8時台	8	47.1	12時台	0	0.0
9時台	7	41.2	13時台	0	0.0
10時台	2	11.8	14時台	2	11.8
-	-	-	15時台	2	11.8
-	-	-	16時台	3	17.6
-	-	-	17時台	5	29.4
-	-	-	18時台	4	23.5
不明	0	0.0	不明	0	0.0
合計	17	100.0	合計	17	100.0

(5) 学童保育の利用について

**来年度就学予定の児童を持つ保護者**

**問 17 学童保育の利用週当たり希望日数**

来年度、小学校に就学予定の子どもについて、学童保育の利用希望を聞いたところ、ほぼ半数が利用したいという意向を持っています。

1週間当たりの利用希望日数は、5日が6割を占めています。

カテゴリ	件数	比率(%)
利用したい	42	50.6
利用予定はない	10	12.0
不明	31	37.3
合計	83	100.0

カテゴリ	件数	比率(%)
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	4	9.5
4日	3	7.1
5日	25	59.5
6日	4	9.5
不明	6	14.3
合計	42	100.0

(6) 子ども家庭支援センター事業について

問 20 子ども家庭支援センター事業等の利用状況・有無等・週当たり回数

子ども家庭支援センター事業の利用状況は、1割弱となっています。  
また、1週間当たり利用回数は1～2回程度となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
子ども家庭支援センター事業を利用	8	9.6
その他、町で実施している同様の事業を利用	2	2.4
利用していない	73	88.0
不明	0	0.0
合計	83	100.0

カテゴリ	件数	比率(%)
1回	3	37.5
2回	2	25.0
3回	0	0.0
不明	3	37.5
合計	8	100.0

問 21 子ども家庭支援センター事業等の利用希望・利用増加希望・週当たり回数

子ども家庭支援センター事業の今後の利用意向は、6.0%で、1週間当たりの利用希望回数は1～3回程度となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
子ども家庭支援センター事業を利用したい	5	6.0
その他、町で実施している同様の事業を利用したい	1	1.2
特にない	29	34.9
不明	48	57.8
合計	83	100.0

カテゴリ	件数	比率(%)
1回	2	40.0
2回	1	20.0
3回	1	20.0
4回	0	0.0
不明	1	20.0
合計	5	100.0

問 21-1 子ども家庭支援センター事業を利用していない理由

子ども家庭支援センター事業を利用していない理由としては、「特に理由はない」という人が多く、そのほかでは「時間がない」という理由が多くなっています。今後は、ニーズにあった事業内容の充実などが求められます。

カテゴリ	件数	比率(%)
利用したいサービスが地域にない	3	4.1
地域のサービスの質に不安がある	0	0.0
地域のサービスの利便性(立地・開催時間・日数等)が悪く利用しづらい	2	2.7
利用料がかかる	3	4.1
自分がサービスの対象者になるのかわからない	4	5.5
時間がない	17	23.3
サービスの利用方法(手続き等)がわからない	4	5.5
その他	6	8.2
特に理由はない	30	41.1
不明	4	5.5
合計	73	100.0

### (7)子育て支援サービスについて

#### 問 22 子育て支援サービスの認知度・利用率・希望率

各種子育て支援サービスの認知度については、保育園保育料助成事業、子ども家庭支援センター、ひとり親・多子家庭ごみ手数料支援事業などで9割を超え、乳幼児歯科相談、学童保育育成料の助成事業、ひとり親・多子家庭水道料金一部支援事業、インフルエンザ予防接種事業、パパ・ママ教室、多子家庭世帯高校生通学援助事業なども8割を超える高い認知度となっています。総じて高い認知度ですが、奥多摩の福祉、心理相談、保育所の園庭等の開放などはやや低い認知度となっています。

利用率については、サービス対象に該当しない人もいることなどから、総じて低くなっていますが、乳幼児歯科相談で8割を超える高い利用率となっています。

利用希望率については、総じて現状の利用率よりも高くなる傾向にあります。インフルエンザ予防接種事業、保育園保育料助成事業については、7～8割の高い利用希望率となっています。

サービス名	項目	比率(%)
パパ・ママ教室(母親学級・両親学級)	認知度	84.3
	利用率	49.4
	希望率	24.1
乳幼児歯科相談	認知度	89.2
	利用率	80.7
	希望率	59.0
福祉保健センターの情報・相談サービス	認知度	73.5
	利用率	31.3
	希望率	54.2
保育所の園庭等の開放	認知度	59.0
	利用率	33.7
	希望率	56.6
子ども家庭支援センター	認知度	90.4
	利用率	27.7
	希望率	51.8
心理相談	認知度	55.4
	利用率	9.6
	希望率	41.0
奥多摩の福祉(子育て編)	認知度	49.4
	利用率	19.3
	希望率	53.0
新生児・こんにちは赤ちゃん訪問	認知度	65.1
	利用率	38.6
	希望率	31.3
子育てサロン	認知度	73.5
	利用率	30.1
	希望率	41.0

妊婦健康診査充実事業(14回分の妊婦健診の補助、助成)	認知度	71.1
	利用率	21.7
	希望率	33.7
インフルエンザ予防接種事業(1～18歳までのインフルエンザ予防接種の助成)	認知度	86.7
	利用率	33.7
	希望率	81.9
ファミリーサポートセンター利用助成事業(3～10歳までの10時間分の利用券の配布)	認知度	73.5
	利用率	4.8
	希望率	65.1
保育園保育料助成事業(第2子目以降の保育料全額助成)	認知度	94.0
	利用率	57.8
	希望率	77.1
学童保育育成料の助成事業(ひとり親世帯と多子家庭世帯第3子目の学童保育育成料の助成)	認知度	88.0
	利用率	7.2
	希望率	54.2
ひとり親・多子家庭ごみ手数料支援事業(ごみ手数料の全額助成)	認知度	90.4
	利用率	16.9
	希望率	47.0
ひとり親・多子家庭水道料金一部支援事業(水道料金の一部を助成)	認知度	88.0
	利用率	20.5
	希望率	47.0
多子家庭世帯高校生通学援助事業(子どもが3人以上いる世帯の高校生の通学費6ヶ月定期代の1/2を助成)	認知度	84.3
	利用率	2.4
	希望率	48.2

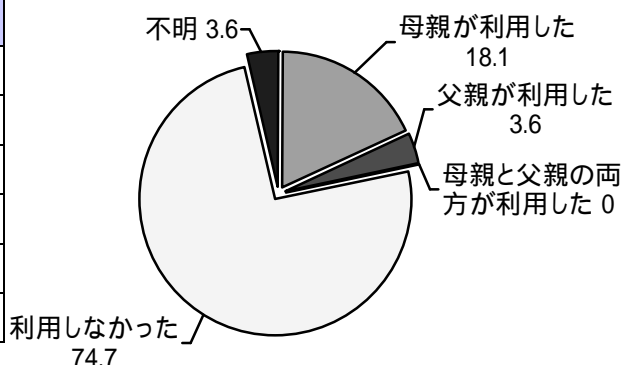
## (8) 育児休業制度の利用について

### 問 23 育児休業制度の利用経験

育児休業制度の利用経験は、母親利用が18.1%、父親利用が3.6%で利用率は低いといえます。

カテゴリ	件数	比率(%)
母親が利用した	15	18.1
父親が利用した	3	3.6
母親と父親の両方が利用した	0	0.0
利用しなかった	62	74.7
不明	3	3.6
合計	83	100.0

育児休業制度の利用経験(総数83、単位%)



### 問 23-1 復帰時の子どもの月齢

育児休業制度を利用した18例の復帰時の子どもの月齢については、12か月が5例と多くなっています。これも含め1年以内が12例となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
0か月	1	5.6
1か月	1	5.6
2か月	2	11.1
8か月	1	5.6
9か月	1	5.6
10か月	1	5.6
12か月	5	27.8
18か月	2	11.1
不明	4	22.2
合計	18	100.0

### 問 23-2 育児休業明けの保育サービスの円滑な利用

育児休業制度を利用した人が、待機等により、保育サービスを利用するために休業期間を調整したかどうかについては、6例が期間を調整せずにサービスを利用しています。しかし、期間を調整したり、利用できなかった人もあわせて5例あり、円滑なサービスの提供を図る必要があります。

カテゴリ	件数	比率(%)
育児休業期間を調整せずに利用できた	6	33.3
育児休業期間を調整したので利用できた	3	16.7
利用できなかった	2	11.1
希望しなかった	3	16.7
不明	4	22.2
合計	18	100.0

### 問 23-3 保育サービスの利用開始による休業期間調整

保育サービスが円滑に利用できれば休業期間を調整したかどうかについては、実際の期間と変わらないが2例となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
変わらない	2	66.7
長くした	0	0.0
短くした	0	0.0
不明	1	33.3
合計	3	100.0

### 問 23-4 育児休業制度を利用できなかった場合の対応方法

育児休業制度を利用できなかった人の対処方法については、家族等に見てもらって対応した人が2例となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
希望とは違う認可保育所を利用した	0	0.0
事業所内の保育サービスを利用した	0	0.0
上記以外の保育サービスを利用した	0	0.0
家族等に見てもらうことで対応した	2	100.0
仕事を辞めた	0	0.0
不明	0	0.0
合計	2	100.0

(9)自由意見について

問 24 自由意見

(1) 保育サービス・子育て支援について

保育料の助成はありがたい。(同様2件)

学童保育の充実(土曜日、長期休暇)

保育園の土曜日の保育を平日同様に。

日曜日や祝日の預かりサービスの実施。(同様3件)

1人っ子でも利用できるサービスの充実。

延長保育の充実。

保育士と保護者の間の意思疎通の充実。

病児保育の実施。

学童保育の延長保育。

サービス対象者にはあらかじめ案内をしてスムーズに利用できる仕組みができないか。

認定こども園が町にあると良い。

学校での行事の際、校内で子育て支援員による託児サービスを提供したらどうか。

ファミリーサポートセンターの対象年齢を0歳からにしてほしい。(同様2件)

どのようなサービスがあるのか、広報などに載せてほしい。

保育園での衛生管理の充実。

保育料の軽減。

利用しないファミリーサポート券を他のサービス券に換えられたらと思う。

0歳児保育の定員の増加。

保育園で骨折したのに治療に対するサポートがなかった。

保育園での催しは平日が良い。

産褥ヘルパーの制度がほしい。

子育て支援制度を3人目からではなく、1人目から利用できるように充実してほしい。

子育て中の人にバスのフリーパスを発行してほしい。

制度がわかりにくい。やさしい説明をしてほしい。

(2) 保健・医療について

小児科、皮膚科、耳鼻科、助産院など医療機関の充実。(同様3件)

インフルエンザの助成は助かる。

指定医ではなくかかりつけ医での予防接種を可能にしてほしい。

検診医が相談できそうな雰囲気ではない。

(3) 生活環境について

町営住宅の整備。家賃をもっと安く提供してほしい。(同様2件)

賃貸住宅の斡旋を望む。

奥多摩の魅力である自然の豊かさを活かした遊び場を整備してほしい。

町民の憩いの場、コーヒーショップができないか。

公園内の砂場の動物のフンの対策。遊具の充実。

ベビーカーで通れるように歩道の整備・改良をお願いしたい。

( 4 ) 仕事と子育て、家庭生活とのバランスについて

出産休暇、育児休暇などをとりやすくするバックアップシステムが必要。  
消防団員の育児休暇制度の導入。  
町内に土日が休みの仕事が少ない。

( 5 ) その他、総合的な事項

大自然に恵まれている。

子どもの数が少なく、社交性が養われるか心配。

町の子育て支援は充実している。助かっている。町外に自慢できる。(同様 5 件)

福祉の充実は町への移住の後押しになる。

プライバシーに関わる設問は回答しなかった。

大学生、高校生・中学生など大きな子どもを対象とした助成をお願いしたい。特に高校生は通学が大変。

家庭内暴力が相談で解決できるのか心配。

わかりにくい設問があった。

母親同士のコミュニケーションを充実したい。

## 4 . 就学児童調査

(1)学童保育の利用について

### 問9 学童保育利用状況

学童保育については、利用率は27.8%となっています。学年別にみると、低学年の利用率が高まる傾向にあります。

カテゴリ	件数	比率(%)
利用している	30	27.8
利用していない	72	66.7
不明	6	5.6
合計	108	100.0

下段：比率(%)	合計	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	不明
合計	108 100.0	26 100.0	22 100.0	17 100.0	12 100.0	12 100.0	14 100.0	5 100.0
利用している	30 27.8	1 3.8	1 4.5	1 5.9	6 50.0	8 66.7	12 85.7	1 20.0
利用していない	72 66.7	22 84.6	20 90.9	16 94.1	6 50.0	4 33.3	1 7.1	3 60.0
不明	6 5.6	3 11.5	1 4.5	- -	- -	- -	1 7.1	1 20.0

### 問9-1 学童保育の利用状況

#### 平日の利用日数、土日利用の有無

学童保育の平日の利用日数は、5日が一般的となっています。  
土曜日の利用については、6.7%と低くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
1日	0	0.0
2日	1	3.3
3日	5	16.7
4日	5	16.7
5日	19	63.3
6日	0	0.0
不明	0	0.0
合計	30	100.0

カテゴリ	件数	比率(%)
ある	2	6.7
ない	23	76.7
不明	5	16.7
合計	30	100.0

### 利用する理由

学童保育を利用する理由については、就労していることを理由とする人が8割を超えています。

カテゴリ	件数	比率(%)
現在就労している	25	83.3
就労予定がある / 求職中である	1	3.3
家族・親族などを介護しなければならない	0	0.0
病気や障害を持っている	0	0.0
学生である	0	0.0
その他	3	10.0
不明	1	3.3
合計	30	100.0

### 問9-2 学童保育を利用していない理由

学童保育を利用していない理由については、「就労しているが、子どもだけで大丈夫」とする理由や「就労していない(から子どもをみることが出来る)」人が比較的多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
現在就労していないから	11	15.3
就労しているが、学童保育を知らなかったから	0	0.0
就労しているが、近くに学童保育がないから	0	0.0
就労しているが、学童保育に空きがないから	0	0.0
就労しているが、学童保育の開所時間が短いから	0	0.0
就労しているが、利用料がかかるから	7	9.7
就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから	2	2.8
就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫と思うから	14	19.4
就労しているが、他の施設に預けているから	0	0.0
その他	34	47.2
不明	4	5.6
合計	72	100.0

### 問9-3 学童保育を利用していない人の利用希望・週当たり日数・土日の利用希望

学童保育を利用していない人の利用希望は、4.2%と低くなっています。  
平日の利用希望日数は、週2日と限定的であり、土日の利用希望はみられません。

カテゴリ	件数	比率(%)
利用したい	3	4.2
今後も利用しない	61	84.7
不明	8	11.1
合計	72	100.0

[ 平日の利用希望日数 ]

カテゴリ	件数	比率(%)
1日	0	0.0
2日	1	33.3
3日	0	0.0
不明	2	66.7
合計	3	100.0

[ 土日の利用希望 ]

カテゴリ	件数	比率(%)
ある	0	0.0
ない	1	33.3
不明	2	66.7
合計	3	100.0

問 9 4 学童保育利用の理由

新たに学童保育を利用したい人の理由としては、就労しているが1例みられます。

カテゴリ	件数	比率(%)
現在就労している	1	33.3
就労予定がある / 求職中である	0	0.0
そのうち就労したいと考えている	0	0.0
家族・親族などを介護しなければならない	0	0.0
病気や障害を持っている	0	0.0
学生である / 就学したい	0	0.0
就労していないが、子どもの教育などのために預けたい	0	0.0
その他	2	66.7
不明	0	0.0
合計	3	100.0

問 9 5 『放課後子ども教室』の利用希望・週当たり日数

『放課後子ども教室』の利用希望については、34.3%の利用意向がみられます。

1週間当たりの利用希望日数については、1日と2日がそれぞれ24.3%で多くなっていきます。

カテゴリ	件数	比率(%)
意向がある	37	34.3
意向がない	25	23.1
対象のサービスがない	17	15.7
不明	29	26.9
合計	108	100.0

[ 週当たりの利用希望日数 ]

カテゴリ	件数	比率(%)
1日	9	24.3
2日	9	24.3
3日	5	13.5
4日	1	2.7
5日	3	8.1
6日	1	2.7
7日	0	0.0
不明	9	24.3
合計	37	100.0

問 10 小学5年生以降の放課後の過ごし方・学童保育を利用したい学年

5年生以降(以上)の放課後の過ごし方については、サービス希望が特でない人が3割程度で最も多いほか、クラブ活動・習い事が2割を超えています。また、『放課後子ども教室』も2割弱と少なくありません。なお、学童保育は8.3%と限定的です。

学童保育については、(実施するならば)6年生までという声が多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
学童保育を利用したい	9	8.3
放課後子ども教室を利用したい	21	19.4
クラブ活動など習い事をさせたい	25	23.1
利用を希望するサービスは特でない	32	29.6
その他	10	9.3
不明	11	10.2
合計	108	100.0

カテゴリ	件数	比率(%)
4年生	0	0.0
5年生	0	0.0
6年生	7	77.8
不明	2	22.2
合計	9	100.0

## (2)自由意見について

### 問 18 自由意見

#### (1) 保育サービス・子育て支援について

子ども3人以上の世帯はいろいろなサービスや助成がある。1人からでも平等に適用してほしい。(同様2件)

留守番で家に閉じこもりがちなので、放課後子ども教室などで体を使った遊びをさせたい。

学童は6年生まで預かってほしい。(同様2件)

高学年が親の帰りを待つことのできる公共の場所がほしい。

学童の土曜日の受け入れを拒否しないでほしい。

必要な時に利用できるサービスがわかりやすい様に一覧などで示してほしい。

子育て支援事業は非常に助かる。

滞納があっても支援を受けたい。

ファミリーサポートセンターを利用して助かっている。

父子家庭への支援が少ない。

学童保育はとても助かる。

ファミリーサポートの利用料の負担が大きい。

#### (2) 保健・医療や生活環境について

医療費の助成はありがたい。

駅の近くに公園がほしい。

子どもが安心して自由に遊べる場所が少ない。児童館や公園などを整備してほしい。(同様5件)

町内で体験できるスポーツ・文化活動が限られている。もっといろいろな機会を増やしてほしい。

福祉会館の駐車場の確保。

雨の日や冬の寒い時にバスを待つのが辛い。待合所などがほしい。

低家賃の住宅の確保を支援してほしい。(同様2件)

#### (3) 仕事と子育て、家庭生活とのバランスについて

なかなか思うように就労できない。

若い親達の仕事を増やしてほしい。

#### (4) 学校教育について

中学校の部活動を複数校合同でできないか。送迎もあるとありがたい。

小学校の遊具を使えるようにしてほしい。(同様2件)

高校生の通学が悩み。

学校の給食は、終業式前日までお願いしたい。

小中学校の教育が、子どもに目がいきとどいて素晴らしい。

スクールバスの運行、給食費の無料化など、不便さを解消し、若い家族の定住を促進する方策を望む。

( 5 ) その他、総合的な事項

設問に回答しづらい。「次世代育成支援行動計画」とは何かをわかりやすく説明すべき。  
親 1 人でも子育てのできる町にしてほしい。

田舎の人間関係には気をつかう。

不便だが、水がおいしいなど、素晴らしい環境がある。

## 5 . 中高生調査

(1)対象者の属性について

### 問1 性別

男女比は、概ね男性：女性 = 45 : 55 となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
男性	72	45.3
女性	86	54.1
不明	1	0.6
合計	159	100.0

### 問2 学年

学年構成は、中学生各学年が2割程度、高校生各学年が1割程度となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
中学1年生	36	22.6
中学2年生	37	23.3
中学3年生	33	20.8
高校1年生	22	13.8
高校2年生	16	10.1
高校3年生	14	8.8
その他	0	0.0
不明	1	0.6
合計	159	100.0

### 問3 同居家族(複数回答)

同居家族の状況は、父母が98.7%、兄弟姉妹が73.6%、祖父母が44.0%などで、3世代家族が少ないといえます。

カテゴリ	件数	比率(%)
父母	157	98.7
祖父母	70	44.0
兄弟姉妹	117	73.6
その他	4	2.5
不明	1	0.6
総数	159	100.0

### 問4 居住地区

居住地区については、古里地区、氷川地区に集中しています。

カテゴリ	件数	比率(%)
古里地区	73	45.9
氷川地区	73	45.9
小河内地区	5	3.1
その他	6	3.8
不明	2	1.3
合計	159	100.0

(2) 学校関係のことについて

問5 通学時間

通学時間は、30分未満があわせて54.7%、1時間未満があわせて71.7%となっています。1時間以上も27.7%となっています。

学年別には、高校生で1時間以上が多くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
15分未満	32	20.1
30分未満	55	34.6
45分未満	18	11.3
1時間未満	9	5.7
1時間以上	44	27.7
不明	1	0.6
合計	159	100.0

[ 学年別 ]

下段：比率(%)	合計	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	不明
合計	159 100.0	36 100.0	37 100.0	33 100.0	22 100.0	16 100.0	14 100.0	- -	1 100.0
15分未満	32 20.1	10 27.8	7 18.9	15 45.5	- -	- -	- -	- -	- -
30分未満	55 34.6	21 58.3	23 62.2	10 30.3	- -	- -	- -	- -	1 100.0
45分未満	18 11.3	3 8.3	6 16.2	8 24.2	- -	1 6.3	- -	- -	- -
1時間未満	9 5.7	2 5.6	- -	- -	3 13.6	3 18.8	1 7.1	- -	- -
1時間以上	44 27.7	- -	- -	- -	19 86.4	12 75.0	13 92.9	- -	- -
不明	1 0.6	- -	1 2.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問6 通学手段(複数回答)

通学手段については、徒歩が72.3%のほか、電車42.8%、バス14.5%などとなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
徒歩	115	72.3
電車	68	42.8
バス	23	14.5
バイク・自転車	11	6.9
その他	4	2.5
不明	0	0.0
合計	159	100.0

[ 学年別 ]

下段:比率 (%)	合計	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	不明
合計	159 100.0	36 100.0	37 100.0	33 100.0	22 100.0	16 100.0	14 100.0	-	1 100.0
徒歩	115 72.3	29 80.6	30 81.1	29 87.9	12 54.5	8 50.0	6 42.9	-	1 100.0
電車	68 42.8	6 16.7	6 16.2	5 15.2	22 100.0	16 100.0	13 92.9	-	-
バス	23 14.5	5 13.9	5 13.5	3 9.1	5 22.7	1 6.3	4 28.6	-	-
バイク・自転車	11 6.9	-	-	-	5 22.7	4 25.0	2 14.3	-	-
その他	4 2.5	-	2 5.4	1 3.0	1 4.5	-	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問7 通学の不便さ

通学の不便さについては、51.6%の人が感じており、特に電車を利用することの多い高校生で高くなっています。

カテゴリ	件数	比率 (%)
感じない	77	48.4
感じる	82	51.6
不明	0	0.0
合計	159	100.0

[ 学年別 ]

下段:比率 (%)	合計	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	不明
合計	159 100.0	36 100.0	37 100.0	33 100.0	22 100.0	16 100.0	14 100.0	-	1 100.0
感じない	77 48.4	23 63.9	22 59.5	24 72.7	4 18.2	2 12.5	1 7.1	-	1 100.0
感じる	82 51.6	13 36.1	15 40.5	9 27.3	18 81.8	14 87.5	13 92.9	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問7-1 通学が不便な理由

電車やバスの本数の少なさ、坂道など、立地条件からくる理由が多くなっています。

電車の本数が少ない(青梅線、八高線)。朝早く、帰りが遅くなる。(同様39件)
家から学校まで遠い。朝早く家を出なければならない。通学時間がかかる。(同様14件)
電車が凍結、大雨、倒木等で停止するのでこまる。(同様4件)
都内に行くのに、時間がかかる。
電車の終電がはやい。
電車の定期券が高い。

電車の青梅での待時間が長い。乗りかえが不便。(同様4件)
朝駅員がいない。朝早い。
電車とスクールバスを乗りついで通学するため、6時台の電車の本数が少なく、スクールバスに乗ることができる時間に間に合わない。
路線バスと電車の時間を合わせるのが大変。
路線バスの本数が少ない。(同様11件)
坂が多い。冬の通学は、坂にしもがおりて、通るときに滑って危ない。(同様7件)
通学手段が徒歩しかない。学校が山の上で歩くのがめんどろ。(同様6件)
わざわざ山を降りて、そこから更に歩かなければいけないから。
学校が遠いので、電車がよくても、歩いて乗っても変わらない。
駅から学校までの道が遠い。(同様2件)
徒歩でも電車(駅)でも遠い。いい交通手段が無い。(同様2件)
もしおくれてしまった場合、電車の方がつくのが早い場合があるから。少し具合が悪い時に電車に乗りたい時があるから。
どうせなら各地域専用の中学校行きのバスがほしい。
街灯が少ないから暗い。(同様2件)

### 問8 日頃の時間のゆとり

日頃の生活での時間のゆとりについて、十分・ある程度あるという人はあわせて6割を超えています。反対に、あまり・ほとんどないという人はあわせて27.7%と少なくなっています。

学年別には、十分ゆとりがあるのは高校1年生までとなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
十分ある	14	8.8
ある程度ある	84	52.8
あまりない	30	18.9
ほとんどない	14	8.8
よくわからない	16	10.1
不明	1	0.6
合計	159	100.0

#### [学年別]

下段：比率(%)	合計	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	不明
合計	159 100.0	36 100.0	37 100.0	33 100.0	22 100.0	16 100.0	14 100.0	-	1 100.0
十分ある	14 8.8	5 13.9	6 16.2	1 3.0	2 9.1	-	-	-	-
ある程度ある	84 52.8	16 44.4	21 56.8	21 63.6	8 36.4	9 56.3	8 57.1	-	1 100.0
あまりない	30 18.9	10 27.8	3 8.1	4 12.1	5 22.7	5 31.3	3 21.4	-	-
ほとんどない	14 8.8	2 5.6	3 8.1	1 3.0	6 27.3	1 6.3	1 7.1	-	-
よくわからない	16 10.1	3 8.3	4 10.8	5 15.2	1 4.5	1 6.3	2 14.3	-	-
不明	1 0.6	-	-	1 3.0	-	-	-	-	-

問 8 - 1 ゆとりのない理由

部活動、通学時間の長さ、塾、受験勉強など、ゆとりのない理由があげられています。

部活や勉強が忙しい。部活で朝早く帰りも遅く、土日も練習。(同様 21 件)
通学時間が長い。(同様 7 件)
塾・習い事や部活があり、時間にゆとりがない。塾から帰って夕食を食べてお風呂に入って寝るだけ。(同様 3 件)
いろいろ、やりたいことが多いから。(同様 3 件)
学校から家まで遠く、電車の本数が少ないので。(同様 2 件)
通学手段が徒歩しかない。
むだなことしているから。
特にないけど、毎日がせわしない。
楽しめる場が奥多摩にはない。
学校から帰るとき、電車がギリギリに来ることが多いから。
電車の時間が合わなかったりで、帰りが遅くなる。部活などで。
受験生だから。ゆとりがあるのはあまり好きではないから。
医者等にかかりたくても、帰宅してからでは遅くて難しい。お店もしまっていて、買い物も出来ない。

(3) 奥多摩町のことについて

問 9 奥多摩町のイメージ

町のイメージは、自然・緑の豊かさに関するものが圧倒的で、住民の人柄の良さや町民どうしの仲の良さ、など肯定的なもののほか、田舎、不便といった否定的なイメージも少なくありません。

(1) 自然・観光

自然。自然が豊か。自然が豊かな町。自然豊かで空気がきれい。大自然。など(同様 50 件)
山。緑がいっぱい。緑が美しい。森。など(同様 22 件)
自然豊かで穏やかなところ。時間のスピードがゆっくりしている。気持ちがあつろぐ所。(同様 3 件)
自然が豊か。都心に近い観光地。
綺麗です。
山が多く静かな所。
自然がたくさんある。水がおいしい。
自然が多くて、いい町!
森があり、空気もいいし、住みやすい町だと思う。
秋になると紅葉もきれいで自然に恵まれているところ。
自然豊かで、川も綺麗で、新鮮な食べ物がたくさんある所だと思います。
山と川とキャンプ場がたくさんある。野生の動物がたくさんいる。
すばらしい!夜がうるさくなくてよくねむれる。
緑。山ばっかだから。
自然豊かでとても明るいイメージ。
緑がいっぱい。でも、特産物がほとんどない。
自然が多くて野生動物がたくさんいる。
山と川と鹿。
山がとてもきれいで、紅葉がとくにきれい。観光客がよくいる。空気がきれい。
森と緑に囲まれて自然豊かな所。
山ばかりだけど、観光地としてはとても良いところだと思う。
自然はたくさんあるけど、上手につかえない。(川で泳げないなど)
くすみのないみどり色のビー球。
空気がきれいで、緑がたくさん。
山にかこまれている。水がキレイ。
なにもない。自然は自慢できる所。
自然に囲まれた静かな町。緑の多い町、酸素の多い町。

木がたくさんあって、秋にはたくさん観光客がくる。  
 観光客が多い。  
 観光地であって住む所ではない。  
 山の中。なにもない。

(2) 田舎・過疎化・少子高齢化

田舎。田舎っぽい感じ。(同様7件)  
 少子高齢化がかなり進んでいる。(同様2件)  
 空気がキレイ。じまんでできる所。でも不便。店が少ない。子供が少ない。  
 のどかで、山がキレイで、川の清流が和むところ。田舎。  
 過疎化している。  
 高齢、過疎。

(3) 人・人情・雰囲気

山がたくさんある。人が親切。  
 自然豊かで、いい人がたくさんいる。  
 自然が豊か。山や川がとてきれい。みんなが親切。  
 都心ではできない毎日のあいさつや近所の人とのコミュニケーションがある。(同様2件)  
 自然が豊かでどの人も親切な所です。  
 平和な町。  
 町の人は皆優しい。  
 山が沢山あって、川が流れていて、空気がキレイな所で、住民のみなさんがとても優しい。  
 平和なところ。安心して生活できる。  
 不便。自然があふれてる。人情のある町。  
 いじめがない。  
 みんなの仲がいい。  
 地域の団結が良い。  
 自然がたくさんあって、空気もよく、水もきれいだし、町の人がとても愛想が良いんだと思います。  
 みんな一つとなって団結し、思いやりと挑戦の心意気がある。  
 町民どうしが年齢に関係なく仲が良い。観光地。  
 住民の仲が良い。不便ながらも居心地の良いイメージ。  
 自然が豊か。人情があふれてる。あいさつが飛び交っている。  
 景色がスベクタクル。他の市と比べて平和。  
 自然がキレイで人がやさしくて、しずかな町。  
 町は私達のために、できるかぎりのことをしてくれて、いつもたすかっています。

(4) 利便性・楽しみ

自然が豊かであたたかい地域だが、交通に関しては不便。(同様2件)  
 自然は豊かで良いと思うが生活するには不便。  
 自然がきれい、でもなんもない(スーパーなど)！  
 あまり便利でないところ。なぜかというところ色々まとまった商品とか奥多摩内でパッと買えないし、もう奥多摩は終わっているイメージ。  
 子供が楽しめる場がないので、おもしろくない。  
 活気がない。お店がない。  
 木が多い。交通が不便。  
 お店が少ない。電車の本数が少なすぎる。  
 自然がいっぱいあって、いやされるし、おちつくから好きだけど、交通が不便。  
 不便だけど、なつかしい、落ち着く。  
 店が少ない。道路が狭い。山が多い。近い。

(5) その他

いい町だと思う。とってもいい所。(同様2件)  
 あまりよい印象を持たない。  
 あんまりイメージはない。  
 わからない。

問10 奥多摩町に住んで良かったと思うか

町に住んで良かったという人は7割を超え、4人に3人の割合に近くなっています。学年別には、高校2年生で若干低くなっていますが、概ね7割以上が良かったと感じています。

カテゴリ	件数	比率(%)
良かったと思う	116	73.0
思わない	39	24.5
不明	4	2.5
合計	159	100.0

[ 学年別 ]

下段：比率(%)	合計	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	不明
合計	159 100.0	36 100.0	37 100.0	33 100.0	22 100.0	16 100.0	14 100.0	- -	1 100.0
良かったと思う	116 73.0	26 72.2	29 78.4	25 75.8	18 81.8	8 50.0	10 71.4	- -	- -
思わない	39 24.5	8 22.2	8 21.6	7 21.2	4 18.2	7 43.8	4 28.6	- -	1 100.0
不明	4 2.5	2 5.6	- -	1 3.0	- -	1 6.3	- -	- -	- -

問10-1 どんなときに良かったと思うか

町に住んでいて良かったのは、自然の豊かさ、空気のきれいさ、人の優しさを感じたときなどが多くなっています。

(1) 自然

空気がきれい。空気が美味しい。空気がすんでいる。空気を思いっきり吸える。(同様21件)
自然にめぐまれていること。自然が破壊されていないから。自然が身近にあること。(同様8件)
水がきれい。水がおいしい。(同様4件)
夜、星がきれいに見える時。(同様3件)
山の紅葉がいち早く見れる。紅葉がきれいだから。(同様2件)
自然が多く、リラックスできる。おちつく。(同様2件)
植物といっしょに生きていて植物の大切さを知れるから。
都会の方は空気がとても悪いですし、いじめられそうで、奥多摩は空気はおいしいし。
山に囲まれているから。
都会とは違い、釣りをしたいときなど、すぐ釣りなどをできる。
外を見る時にきれいだなと思う。(同様2件)
山に遊びに行くと色々な木などで遊べたから。
自然に囲まれて、幸せだな!と思った。(周りを見渡した時に)
水を飲みくらべてみた時、都会の水より奥多摩の水の方がおいしかった時。
紅葉がキレイな時と、雪の日。
都心へ行って帰ってきた時、空気がちがう。水がおいしい。

酸素をたくさん吸っているような気がするから。地震がおこってもあまりゆれないから。
四季のそれぞれの風景が身近で見れるから。
夏にすずしい、星空がきれい、静か、虫の音が心地よい、紅葉がきれい、ホタルが見れる。
水がおいしい。自然の美しさに感動したりする時。
豊かな自然にかこまれて、のんびりと過ごせるところ。
高校から帰ってきて、奥多摩の山の多さ、人の少なさを改めて感じる時。
奥多摩だからこそできる川や山などの体験が身近にできるから。

## (2) 人・人間性・地域性

人が優しい。人々と接するとき、優しくうけいれてくれる。(同様7件)
自然がいいから。みんないい人だから。
自分が相手の人にあいさつをすると、きもちよくあいさつをかえしてくれる。
つかれがたまった時等に山を見ると、きもちがよくなる。
住んでいる人が、全員いい人。
近所の人たちが良い。
近所の人や親切な人が多い。やっぱり落ちつく。
知ってる人が多いことで、安心するから。みんな仲よし。
人口が少ないので人のつき合いが良い。
お祭りなどの行事を通していろいろな人と仲良くなれる。近所のおばちゃん達が親切にしてくれて、朝は挨拶をしてくれる。
地域の行事が盛り上がったとき。地域活動をしているとき。(同様2件)
地域のお祭りで、おはやしをやってみた時。
祭礼のとき。
郷土芸能に参加しているとき、真夏日。雪がたくさん降ったとき。
地域会などが楽しいから。
氷川との合流会などがある事カナ?
その時、その時の季節を目や肌でとても感じる事ができる所。地域の人とふれあって、楽しい時。
自然がいっぱいあって、学校ではクラスメートともものすごく仲良くなれるから。
友達と遊んだり、話をしているとき。
人数が少ないからそんなにいじめとかがおきない。(同様2件)
学校全体が仲が良いと感じるとき。
授業はわからなかったら一人一人に教えてくれるから。部活では、一つ一つ丁寧に教えてくれるから。
友だちがいっぱいいるから。
今の友だちにあえたこと。
みんな仲が良いから、友達といる時。
人だらけの都会と違ってのんびりできる。中学・小学校・保育園が一緒の子がほとんどで、アットホーム。
朝起きてそとをみたときや、こまってしまったとき、いろんな人が力をかしてくれたとき。都会の空気をすった時やまずい水をのんだときです。
町民の1人1人が大切にされているから。

## (3) 生活環境

静かな環境で落ち着いた生活がおくれるから。静かなので、暮らしやすい。(同様2件)
混雑する事がないから。ゆったりしている。(同様2件)
空気がきれいで、ゆっくり生活できる気がする。
都会のように物騒でないし、自然がたくさんあるから。
車あまり通らなくて静か。
都会に行った時など、人がいっぱいいたり、空気がよなくて、奥多摩だとそんなことがないので、ここに住んでいてよかったです。
事故や事件が少ない。災害も。
殺人事件とかさうゆうあぶない事件がなく安心して毎日を過ごすことができます。
事件が少ない。人が少ない。走れるところがいっぱいある。

## (4) その他

学校などで人数が少ないからこそできることとか、奥多摩に住んでいるからこそできる体験がたくさんある。病院へ行ったとき(無料だから)。
---

明るい町だから。
涼しい。いろんな発見がある。静か。
例えばこの町でしか味わえない風景を感じられたりとか、都会とは違って独特なところとか、けっこう気づいているところでたくさんある。
都会の雑踏で疲れた時、都会から奥多摩に帰ってきた時。(同様4件)
人の多い所から帰って来るとほっとする。おちつく。(同様3件)
道を歩いてたりしてるときに思います。
家族とかで出かけたりしたりすると、「ここに住んでいる人達住みやすいのかなー」とたまに思います。なので、奥多摩の方がおちつけて良いので、良かったです。
帰り道の電車の中で車窓から景色を見たとき。朝、目覚めが良く、頭が覚醒しているときに、駅までの道のりを自転車で走っているとき。真昼間に散歩したときの長閑さ。広い。
地域の活動の支援もあまりよくなかったし、小学校のときに教員にたくさんの不満があったため。
それなりに教育にお金をかけてくれている。(英検、漢検などを取らせてくれている)自然がある。

#### 問11 奥多摩町に住んで不便とを感じるか

町に住んでいて、4人に3人の人が不便と感じています。

カテゴリ	件数	比率(%)
感じない	39	24.5
感じる	120	75.5
不明	0	0.0
合計	159	100.0

#### 問11-1 どんなときに不便を感じるか

不便を感じるのは、電車などの交通機関に関することが圧倒的で、本などの買い物の不便さ、商業施設の不足を訴える声も多くなっています。

##### (1) 交通

電車に乗り遅れた時。電車が本数が少ない。(同様38件)
電車・バスなど交通が不便。(同様10件)
電車のタイヤがみだれた時。電車がとまる時。(同様2件)
電車の連絡が悪く、ちょっとしたことで運休する。
学校に行く時、電車が止まったり、帰りの時も青梅から奥多摩に帰れないから。
交通が不便。(同様2件)
出かけるときに、バスの本数がないこと。(同様2件)
電車、買い物、天候。
通学に時間がかかる。(同様3件)
通学・通院がたいへん。
青梅までの距離が長い。
観光客の道路渋滞。
通学の時と同じ。
友達とどこか行く時遠すぎて、時間がかかったり(つくまでに)、交通費がすごくかかる。
都心へ高校見学に行くときに時間、お金がとてもかかった。
どこに行くにも移動時間がかかる。遠い! 田舎! 暗い!
大丹波に電車が通っていないとき。
氷川小側に住んでいるので、電車の改札がとても遠まわり。

##### (2) 商業施設

お店が少ない。(同様18件)
コンビニが少ない。(同様8件)
大型スーパーがない所。(同様3件)

本屋がない。(同様5件)
本屋がなく、参考書が手に入らない。欲しい文具がそろっていない。
奥多摩には買い物できる場所は何もない。
近所にショッピングセンターがない。(同様2件)
スーパーやデパートが少ない。
店がない。必要なものが買えない時がある。
買い物に行くのに時間がかかる。
ファーストフード店がないこと。
洋服屋さんもない。
買い物。イオンまでそんなに大きくなって良いが、そんな感じのいっきに物が買える店がほしい。バイトするとことか奥多摩にもっとあってほしい。
コンビニやレストラン、ゲームセンターなど、行きたい所がすぐに行けない。
家の近くに店がなくて、市のほうに出なくちゃいけない時。
店が遠い。
外食したり買い物する時に不便を感じる。
買い物や交通の便。
買い物や病院に行くとき。
やはり、買い物などは、少し遠くに行かなくてはならないから。
買い物に行くときにすぐに行けない。バスで行くとしても大荷物の際にはやっぱり車が必要でガソリン代もかかる。
服やゲームを青梅当たりまで買いに行かなければならないから。
買い物や用事に行くのが大変あまりいろんなことができない。
買い物がめんどろだから。
近いスーパーまで車で20分かかるところ。
青梅の方みたいに遊ぶ場所が沢山ない。買い物に行くのに車や電車を利用しなければいけない。
何もない。
店少ない。生徒少ない。
たまに、あれが必要だなあと思う時にすぐ買えないときに感じます。
店が少なく、青梅まで行かないと買い物ができない。
買い物へ行って買い忘れがあると、またわざわざ出ていかないと近場に店がない。
欲しい物がカンタンに入らない。(同様2件)
若者の衣類をあつかっている店がないから、急な買い物が出来ない。
緑があることはいいことなんです、お店が少ないので、お年寄でもつかいやすいショッピングモールの物を作っていただくと、遠くまで出かけなくてすむと思います。

### (3) その他

眼医者がない。
とにかく、病院にかかりたくても、おわる時間が早い所が多くかかれぬ。
道が凍る。物価が高い。遊べる場所がない。
遊ぶ場所がない。
駅から遠い。
色々なとき。
山道・斜面だらけ。水がこない。
進学～就職までの行動範囲がせまくなる場所。
坂が多い。自転車に乗る程の幅の歩道・車道がない。
友達の家に行くのに1時間以上掛かること。呼ぶ場合にはお金も掛かること。主に移動に不便がある。
歩道がせまい所があるから。
出かける時。
街灯が少ない。

問12 奥多摩町に住んで困ったことがあるか

町に住んで困ったことのある人は47.2%で、困ったことのない人49.7%と拮抗しています。

カテゴリ	件数	比率(%)
ある	75	47.2
ない	79	49.7
不明	5	3.1
合計	159	100.0

問12-1 どんなときに困ったか

不便なことと同様、交通機関の問題、買い物の利便性の低さ、医療機関の少なさなどを指摘する声が多くなっています。

(1) 交通

電車が少ないです。(同様12件)
終電が早い。(同様3件)
電車が不通になると困る。(同様3件)
都会に行く時に、ものすごく遠くて時間がかかる。(同様3件)
交通費がかかる。(同様2件)
習い事の帰りに、青梅で1時間も電車を待った。
朝早い用事に間に合わない。特に子供は電車が遅れたりしたら大変。
通学の時と同じ。
観光客が邪魔。
交通が不便。
すぐ電車が止まったり、情報が遅い。
どこへ出かけるにも不便。友だちと待ち合わせにしても、学校行事で集合の時間で調整ができない。
大丹波に電車が通っていないとき。
大雨、大雪の通行止め、電車の運休。

(2) 商業施設

店が少ない=ほしいものが買えない。(同様5件)
すぐに必要なものがすぐに手に入らない。(同様3件)
スーパー、デパートがすくない。
デパートがないから不便。
コンビニの営業時間、閉店が早い。(同様2件)
コンビニが少ない。
買い物の便利さがない。あと、こうやってアンケートをとっているなら、1つでも実施してほしい。実施したらしたで、ちゃんと報告とかしてほしい。
一人で買い物に行くとき、遠くまで行かないといけない。
服やゲームを青梅当たりまで買いに行かなければならないから。
学用品などが、すぐに手に入らない。デイリ、タイムスじゃ全然だめ。
大型スーパーがなくていちいち河辺方面まで買い物に行かなければならない時、本屋がなくて本を買うために出かけなければならぬため。
不便だから。ほしい物が手にはいらない。(本やゲーセン)
文房具屋やCDショップ、本屋などがないので、青梅の方まで行かなくてはならない。
ほしい物(学用品)等がそろわないこと。
発売日にゲームを買うのが難しいこと。最寄りのコンビニエンスストアまで2kmくらいあること。

(3) 医療機関

徒歩で医者に行けない。
病気、特に耳鼻科、眼科、矯正歯科、小児科通院時。

耳鼻科、眼科等がない。学校が休みになっても、遠くまで出ないと、用が足りない。奥多摩の良い所を活用していない。  
病院がしまるのがはやい

(4) その他

夜になると照明が少なくとても暗い。(同様3件)  
雪が降ったりしたらすべったり、雪かきが大変だから。  
道が凍っている。  
道がせまい所があるからあぶない。  
せまい歩道に工事のため大きな車が止まって歩けなく、前も見えないので車がきているかどうかもわからず、無理矢理通ったことがあったから。  
電車の中の観光客。  
色々なとき。  
ライフラインが台風で全滅した。  
たいした物がない。  
ねこが大量にいる。  
いろいろな獣が山から降りて出てきたり、見えないところで変な人がたくさんうろついたり。あと、車に乗って、古里周辺の国道で道路がすごいガタガタしていて、イライラしてくる。  
冬がとってもさむい。  
老人が多い。  
駐車場が少ない。車がないと生活が困難に思う。住みやすい町だとは思わない。  
全てにおいて不便。  
防災無線のはいりが大変悪く、家にあるが、まったくはいらず、電車が停止しているのもわからなかったり、その他の事もわからないので、親は「昔の有線の方が良かった」と言っている。もっと情報の伝達を良くしてもらいたい。  
土砂くずれ。  
高校をえらぶとき、どこの学校もおいこと。大学で、行きたい学校がとなくて、受験することもできない。

問13 奥多摩町に住み続けたいと思うか

町への定住意向については、20.1%が住み続けたいとしています。  
学年別には、高校1年生で若干定住意向が高くなっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
思う	32	20.1
思わない	38	23.9
わからない	86	54.1
その他	1	0.6
不明	2	1.3
合計	159	100.0

[ 学年別 ]

下段：比率（％）	合計	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	その他	不明
合計	159 100.0	36 100.0	37 100.0	33 100.0	22 100.0	16 100.0	14 100.0	- -	1 100.0
思う	32 20.1	6 16.7	8 21.6	6 18.2	7 31.8	2 12.5	2 14.3	- -	1 100.0
思わない	38 23.9	8 22.2	13 35.1	3 9.1	4 18.2	7 43.8	3 21.4	- -	- -
わからない	86 54.1	21 58.3	15 40.5	24 72.7	10 45.5	7 43.8	9 64.3	- -	- -
その他	1 0.6	- -	1 2.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -
不明	2 1.3	1 2.8	- -	- -	1 4.5	- -	- -	- -	- -

問 13-1 住み続けたい・住み続けたくない理由

住み続けたいのは、自然があって、住み慣れているからという理由、住み続けたくないのは、不便、都会に住みたいという理由が多くなっています。

( 1 ) 住み続けたい

いつでも自然とふれあえるから。
ずっと、緑と優しさに満ちあふれたこの町を守りたい。
自然の美しさを見ていたいし、大切にしていきたいから。
自然がたくさんあってすきだから。
自然があるからそれをけいぞくさせたい。
星がキレイだから。
都会より水がおいしいから。
静かだし、水もおいしいから。
環境がとてもよい。静かで星がきれいで、四季が感じられる。
きれいな環境に恵まれ、住み良い町だから。
空気が気持ちいいし、問 9 と問 10 で書いたとおり、いいことがたくさんあるから。
自分の生まれ育ったところだし、自然と一緒にくらしたいからです。
住みなれているから。
生まれ育った土地だから。
今までずっと住んでたから。
故郷は大切だと思うから。
せめてふるさとにしたい。
自分は奥多摩が好きだから。(同様 2 件)
好きだし、落ちつくから。
いい町だから。
住みごちがすごくいいから。
結婚したら、自分のように子供も感じられるところにいたいから。
やっぱり、この奥多摩町が私にとって一番住みやすい町だと思います。できることなら、ずっと住み続けていきたいと思いました。
楽しめる行事がたくさんある。住みたいと思うが実際には無理だと思う。
多少不便なこともあります。やっぱりこの町のあたたかさは大好きなので、できればずっとここにいたい。ここなら、父、母もすぐそばにいるし。
家業を継ぐため。
町の人が温かくて大好きだから。

(2) 住み続けたくない

不便だから。(同様 10 件)
なにもないしからやだし、つまらん。
奥多摩にはやっぱり店がない、電車の本数が少ない。
めんどくさい。
人などが少なくなるから。
まず、高校や大学に通うのに不便だから。その次に働き口があまり無いから。
交通が不便でつまらない。観光するだけなら良いが、住むとなると難しい。
都会でもっと色々な物を見て感じたい。
通学、通院がたいへん。親から独立して、都会にも住んでみたい。
都会の方に住みたい。
遊ぶ所があまりないし、都内の方だったら、沢山あるし、友達もふやせるから。
早く都会の方へ行きたいから。
お店などが少ないし、値だんが高いから。それに都会で働きたいので...
ほかの都市とかそういうところにもいってみたいから。
将来、奥多摩で働かないから。
とにかく不便で、物価が高い。
電車の本数が少ないから。
お店がない。(本屋・CD屋・服屋)
買い物に行くにも不便だから。
住んでいてつまらないし不便だしだるいから。
奥多摩は好きではない。良い思い出もイメージもない。
良いところだけど不便なことが多いからヤダ。
大学などに行くころには奥多摩は出たいと思っている。
病院が午後診療しない。
便利な所に住みたい。仕事先が近い所へ住みたい。(奥多摩に住んでいると仕事が少ない)
とにかく思わない。希望がもてない。
学校にも、将来的にも会社に不便そう。
奥多摩を出て、たくさんのお店がある都会に行きたい。

問 14 ボランティア活動の参加経験

ボランティア活動の参加は、39.0%が経験ありとしています。

カテゴリ	件数	比率(%)
ある	62	39.0
ない	93	58.5
不明	4	2.5
合計	159	100.0

問 14-1 ボランティア活動参加のきっかけ・活動内容

ボランティア活動のきっかけは、学校での活動や先生のすすめ、自分の将来のためといった理由がみられます。

活動内容は、地域の清掃活動や廃品回収、保育園や老人ホームの手伝いなどが多くみられます。

[きっかけ]

学校で決まっていた。学校の総合の時間。学校の行事。(同様 7 件)
先生にすすめられて。先生の紹介で。(同様 5 件)
学校のクリーン作戦。(同様 2 件)

学校の生徒会活動。
小・中学校の行事・地域活動。
学校での奉仕活動課題。
親に行かされた。すすめられた。(同様4件)
友達に誘われた。(同様3件)
子どもと関わることが好きで自分から。(同様2件)
人の役に立つなら、と思って。
獅子舞。
なんとなく。
学校でそういうことをやろうと。
地域活動。
小学校の時、ボランティアの勉強でやった。
学校で6年の時に、地域の皆様へのお礼としてボランティアをさせてもらった。
家でだらだらしているよりもボランティアをした方が楽しいから。
中学の職場体験で行ったこと。
行きたかったから、と、将来なりたい職業だから。
親が老人ホームで働いていて。
やりたいと思っていたから。
地域のため。
受験に向けて。
友達がやっていていっしょにやろうと思ったから。
何か手伝いたかったから。
ちょっと興味があったから。
父、母、地域で。
氷川小学校からのボランティアぼしゅうで、6年生の時にそれを見て。
夏のボランティアぼしゅうのチラシを見たこと。
なんとなく。行きたいなあ~と思ったから。
自分の将来に役立つと思ったから。
お母さんについていって見た。
何でも体験しようと思ったから。
小学校の時、保育園に行きたいねえと友達と話してて、ボランティア活動の申し込みの紙があったので(文化会館)申し込みました。
学校で高齢者について学んだので、高齢者の介護をしてみたいと思った。
学校で配られたお知らせを見て、興味を持った。
ボランティアのプリントを見たこと。
消防少年団。(同様2件)
オーストラリアへのホームステイの事前指導。(同様2件)

[ 活動内容 ]

ゴミひろい。清掃活動。クリーン作戦。(同様13件)
落書き消し。(同様2件)
廃品回収。(同様2件)
保育園の手伝い。(同様26件)
高齢者福祉施設の訪問、手伝い。(同様14件)
障害児・者施設の訪問、手伝い。(同様2件)
地区のお祭り(ささらや、その他)。
たくさんありすぎて分からない。
木の種まき。
夏のボランティア。
駅前でティッシュくばりなど。

問 15 奥多摩町は子ども・障がい者・高齢者が住みよい町だと思うか

子どもや障がい者、高齢者にとっての住みよさについては、分からないという人が多くなっていますが、住みよいとは思わないという人が4人に1人の割合となっており、やや厳しい評価となっています。

カテゴリ	件数	比率(%)
住みよい町と思う	36	22.6
思わない	40	25.2
分からない	77	48.4
その他	3	1.9
不明	3	1.9
合計	159	100.0

問 15-1 住みよい・そう思わない理由

子どもや障がい者、高齢者にとっての住みよさ、住みにくさについて、肯定的理由は、自然の豊かさや人のやさしさ、利用施設の整備がされていることなど、住みにくさの理由としては坂道、交通機関、利便性に関することが多くなっています。

(1) 住みよい理由

空気がきれい。自然が豊か。良い環境。(同様7件)
自然の良さは誇れると思うし、何よりのびのびできると思う。
森林セラピーなどがあるから。
自然がたくさんあって子どもの成長などにいいと思うから。(同様2件)
自由だし、自然が多いから空気もおいしい。
子供達にとっても、自然に遊んでいられるし、また都会と違った人達が住みやすく、いい環境に目覚めていくと思うから。(たぶん自分もそうだった。)
お店などが少ないのは不便だと思いますが、奥多摩は空気とかとてもきれいだから、きもちよく生活できると思います。とくに高齢者は、自然のあるみどりの多いほうが住みやすいと感じます。
人々が温かく親切。みんな優しい。(同様3件)
町みんなが親切だから、どんな人が住んでも大丈夫。
のんびりとできると思う。
みんながあいさつしたり人も少ないため、すぐに友達ができて、うちとけることができると思う。
特に事件とかないから。
事故が少ないから。人も少ないし、車もそんなに多くない。
小・中学校が人通りがある場所にあるから。
車などの通りも少ないし、みんなやさしいからです。
比較的、犯罪などが少ないし、環境が良いから。
子どもの医療費が無料になったり、たんぼぼの家があったり、住みやすいと思う。
他の学校では出来ない事をたくさんやらしてくれる。
たんぼぼ?という所があるし、老人ホームの方は、とても優しいし、住みやすいと思います。
高齢者の介護サービスが充実しているから。
一人一人に対して配慮できていると思います。
施設が整っているから。(同様2件)
町の人が、すごくよく力をかしてくれるから。私達も、いろいろ町がお金をはらってくれたりなどたすかっています。
障がい者対策がいいと思う
老人ホームや病院があるから。
地域支援センター等があるのでいいと思います。
介護施設があり、色々な所にスロープなどがあって、車いすの人達のことをよく考えているから

小学生や老人たちには良いと思う。デイサービスや学童などが俺たちの時より長く居られるし、病院の送迎もなかった。

## (2) 住みにくい理由

坂道や階段が多い。(同様8件)
坂が多い為。公園が少ない。
夜などの暗いときの、明かりが少なすぎる。段差、道路などでこぼこなどのちょっとしたところが、ちょっと危ない。
坂道が多く、坂道がでこぼこしていて、目の見えない人は、つまづいてしまったり、車いすの人は、ガタガタゆれるから。
病院が遠いし、坂道などが多いから。
道が整備されていない。
交通が不便。また人が少ない。道が凍っていたりして危険。
バスも電車も少ないから。
さむい、電車バスが少ない。
高齢者にとっては、買い物するのもとおおいし、駅だつてとおい。病院だつて近くにあるわけでもないし。住みにくいと思う。
子どもは人数が少ないのはいいが、高齢者などは、坂が多かったり、交通が不便だから大変だと思います。
不便すぎるから。(同様2件)
歩いて行ける範囲にもっといろいろあったほうがいいし、電車の数ももっとあったほうがいい。
設備が充実していないから。
バリアフリーだとは言い難い。道路ももう少し整備されれば良いと思います。
交通不便。子どもが安全に遊べる場所がない。
子供は遊ぶ場所がない(公園など)。
子供もあそび公園が少ない(あっても、年よりのゲートボール場もかねている所だと、そっちが優先で、なかなかあそべない)。
高齢者だけに金を使いすぎて未来の子供たちにはお金をあまりかけていないから。
病院の近くに住んでない障害者は、行くまで大変。
医療機関、交通機関が不十分。(同様2件)
救急医療が充実していない。学校は良く言えばアットホームだが、率直に言うと、閉鎖的で、排他的な人間を作りかねない。ぬるま湯。競争心が育たない。
住んでいる場所によってはどこに行くにしても足が必要だから。病院にも足が要るのが痛い。
空気はとてもいいし、自然がたくさんあるけど、急なときに対応しにくい。
支援は行われていても全て中途半端なものであるから。

## (4) 自由意見について

### 問 16 自由意見

#### (1) 自然について

奥多摩町は、「自然豊か」で「キレイな空気」だと思います。
あまり木とかを切らないでほしい。(同様2件)
このまま、自然をこわさないでほしい。
動物たちを殺さないでください。
町が発展してくれるのはうれしいが、今までの「静けさ」が損なわれるほどの発展は望まない。また、街灯が明るすぎると思う。光害を少なくし、「天文に関する観光」も考えてはどうかと思う。ホテルが見れる環境を維持していくべきである。
最近ゴミは山に捨ててあったりするので、ゴミを減らした方が良い。
奥多摩は自然と共存している町なので、環境を配慮した取り組みを他の地方公共団体よりも率先してやるべきだと思う。

#### (2) 交通機関について

電車の本数が少なすぎる。増やしてほしい。電車の本数を最低1時間に3本にしてほしいです。1~2本はかなり不便すぎます。(同様8件)
電車の終電をもっとおそくして下さい。
土、日はもっとホリデー快速を増やしてほしい。

特快がほしい。
バスの本数を増やしてもらいたいです。(同様4件)
3時台奥多摩駅発のバスの本数を多くして下さい。
もう少し電車とかの本数が多かったらいいと思うことがたくさんあります。中学の時、家から1駅分ぐらいあるいたので、なんとかしてもらいたい。
奥多摩は交通が不便だからどうかしてほしいです。
父や母、祖父母の老後が心配です。介護サービスを充実させてほしい。買物、通学、タクシーや通院のための交通手段を整備してほしい。(峰谷はどこへ行くのにもたいへんです)
交通機関が不便。 ・電車の本数を増やして欲しい。電車とバスを接続して欲しい。 ・町内の駅に屋根付き駐輪場が欲しい。 ・自転車専用道路で奥多摩～青梅間を結んで欲しい。国道に自転車通行レーンを作って欲しい。
電車が止まったら、青梅、拝島、立川までの足を確保してほしい。修学旅行・大学受験の時に前泊をしないと、集合時間には行けない。このような事を考えてもらわないと、高校生になると、奥多摩町に住んでいることがいやになってしまうと思う。
小学校側の方にも改さつをつくってほしい。(駅)
奥多摩町にもいいところはあるけど、不便なところがないとは言い切れない。交通面をもう少し、快適に使えるように町づくりしていったらいいと思います。

### (3) 商業利便性について

お店を増やしてほしい。
コンビニ作ってください。
本屋さんと洋服屋さんを古里地区(とくに川井)に作ってほしいです。
子供のあそび場(ゲームセンター、ボーリング、カラオケ)がほしい。
本屋をつくってほしい。
本屋やCD屋、服屋がほしい。
マックとかお店を増やしてほしい。
これは無理だと思うが、奥多摩駅の近くに友達と遊んだりできるボーリング場がほしい。
もうすこしデパートやレストランがほしいです。
「店を増やしてほしい」です。お店がないと、おじいちゃんやおばあちゃん達が困ります。
もう少しお店等を増やし、環境にいい町にしてほしいと思います。
商店が少ない事。空き家とかがあって、こわい。
コンビニが24時間営業であるといい。

### (4) 生活環境について

歩道がない・狭い。夜が暗い。(同様2件)
街灯は少なすぎます。冬は陽がおちるのが早いそして部活で遅い時間...外がまっくらだし、一番人気がない所に、街灯ないし...。少し、怖いです。(同様6件)
がいとうがあってもちかちかしている所もあるので、かくにんしてもらいたいです。ワンセグがみれるように電波がはいるようにしてほしい。
もう少し設備をよくしていったほうがいいと思います。
道路に車、自転車、歩行者の棲み分けが欲しい。
白丸の公衆電話がこわれています。しゅうりしてほしいです。
古里駅の駐輪場は、狭いし、地面はデコボコだし、利用する度に使いにくいとってしまいます。古里駅はとてもキレイになったのにどうして駐輪場は...と思います。

### (5) 学校教育について

部活のチャトル代を補助してください。
強い野球チームの監とくを呼んで指導してほしい。
図書館の本(特に雑誌)をもっと充実させてもらって、もっと使いやすくしてもらいたいと思います。
漢検は小学生に受けさせる必要はないと思う。中学生も希望者のみ、又は、学校に任せ、半額のみ提供にすべきである。英検も同様である。なおそれによって浮いたお金は、町のために使ってほしい。給食をもっと美味しくしてほしい。シンプルな料理をふやすべきである。
この意見を「奥多摩町次世代育成支援行動計画」に必ず参考に使って下さい。また、行動して下さい。
漢字検定は小学校高学年からで良いと思う。
漢検で、テキストまで、1人1人にかけてすごうれしかったです。いろんなところで、私たちに力をかけてくれるので、すごたすかっています。おかげで、毎日たのしく学校にかようことができています。ありがとうございます。

中学生までは、教室の人数が少なく、都会では体験のできないことがたくさんできて、とても楽しかった。

#### (6) 地域の活性化について

自然に任せないで、もっとたくさんの方が積極的に取り組むべきだと思う。旅行にするにきた人がまた来たくような場所にするには、もっとにぎわいが必要だと思う。町の人も他の人も利用できる図書館のような休むところ(例えば、給食のない日などに、小学生が安心して弁当を食べられる)があれば良い。奥多摩町にしかないような、わさびとかやまめを使った何かおいしいものとか、楽しいものとか、変わったものとか、ここでしかできない特徴を持った名物があると良いと思う。天文台(空気がきれい=星がきれい)とか、山のふるさと村みたいな趣味になりそうなものがあると良い。

奥多摩町は観光名所として結構有名で、夏や秋の観光シーズンになるとお客さんをよく見かけるので、良いことだと思います。しかし、観光客むけに、なにかまた来たくようなものを作ったほうがよいと思います。例えば、お土産屋さんを作って、奥多摩の名物やグッズを売ったり、プリクラ等。

人口を増やすために何かしたら良いと思う。例えば、仕事ができる所を増やして町外から若い人を勤めさせるとか、家賃の安い町にするとか。他にも、観光の人が楽しめる町にする、外国人観光客が来たくする町にする、など。

奥多摩町は、綺麗で良い町だと思います。そして、観光客もたくさん来るのでそれを活かしてもっと発展させていった方がよいと思います。海外派遣やスキーなど、私達にとって楽しいこともたくさんあるので、それを続けてほしいです。

奥多摩町に来た観光客には、もっと歴史や名産物などを提供した方がよいと思う。

もっと奥多摩町を有名にして、観光客が来て「楽しかった」「また行きたい」と思うような奥多摩町にしてください。

もっと町の行事を増やして町外の人達にとっても良い所だと思わせた方がよい。

#### (7) その他

私は今の奥多摩が好きです。

このアンケートを送り返す封筒に貼ってある切手が90円切手だった。封筒が大きいのなら小さい物にして規定の80円切手を使うべきではないでしょうか。どうしてこんなムダをするのかわかりません。

住みやすくしてほしい。

このアンケートはよいと思います。

アンケートご苦労様です。

町から～市などにしないでほしい。

青梅と合併とか話があっても、絶対にしないで下さい!

おじいちゃんやおばあちゃんが家でさみしくしているので、参加できるサークルなどがあったほうがよいと思う。目標は、寝たきりゼロ。子供の遊び場がない。(若草公園みたいなところがあれば、お年寄りから赤ちゃんまで、散歩などができるので、仲良くなれるし、健康にもいいと思う。)

町の職員のお給料を減らして、もう少し町のためにお金を使ってほしい。

特にないのでがんばってください。

これからもっと住み良く、親切であり続けてほしいと思います。

もっと若い人が住みやすくなるような工夫をしてもらいたいです。

このペースを保って、この町を守り続けて下さい。

特にありません。このままでも良いんじゃないかな?

現在の子供が将来、住みやすいようにつくってください。

実際、子どもをもつ親が住みよい町にしていかなければ、町の活力となる若者や生産者年齢の人口はどんどん減少していってしまうと思う。

議員を減らしてその分の予算を有効に活用した方がよいと思う。(町の人口に対して議員の人数が多すぎる。)

こんなもの送るひまがあるんだったらただちに実行しろよ。奥多摩つまんねー。でもなにげに好きだよ～ん。

もっと住みよい町にしてください。外国人への差別問題も考えて下さい。現在は、私はちっとも奥多摩に良いイメージを持つことができません。

今について考えてほしい。

観光客のマナーが悪い。

このアンケートの質問が漠然とし過ぎていて(個々の意見をききたかったのだろう)答えづらかった。もっと、好きな所や不便な所を細分化された質問だったら、答えやすかったし、内容が後に生きやすいアンケートになったと思います。

## 6. 付属資料（調査票）

### < 就学前児童調査票 >

封筒のあて名のお子さんとあなた（回答される方）及びご家族の状況についておうかがいしま

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月日をご記入ください。

平成（ ）年（ ）月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

（ ）人 末子の年齢（ ）歳

問3 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（はいいくつでも）

1. 父母同居    2. 父同居（ひとり親家庭）    3. 母同居（ひとり親家庭）    4. 祖父同居  
5. 祖母同居    6. 祖父近居    7. 祖母近居    8. その他（ ）

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（はいいくつでも）

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる  
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる  
5. いずれもない

問4-1 問4で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします。

祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。（はいいくつでも）

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない  
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である  
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
5. その他（ ）

問4-2 問4で「3」または「4」を選ばれた方にお伺いします。

友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。(はいくつでも)

1. 友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人や知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人や知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他( )

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。

続柄はあて名のお子さんから見た関係です。(はい1つ)

1. 主に父親
2. 主に母親
3. 主に祖父母
4. その他( )

問6 お住まいの地域についてお伺いします。1つに をおつけください。

1. 古里地区
2. 氷川地区
3. 小河内地区

### 封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします

問7 保護者の方の就労状況は、次のうちのどれですか。父親、母親それぞれについて、あてはまるもの1つに をおつけください。

(1) 父親【母子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している(フルタイム; 育休・介護休業中は含まない)

1週間当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。

【 1週間当たり( )時間 ・ 帰宅時間 ( : ) 】

2. 就労している(フルタイムだが育休・介護休業中)
3. 就労している(パートタイム、アルバイト等)

就労時間についてお伺いします。

【 1週間当たり( )日 ・ 1日当たり( )時間 】

フルタイムへの転換希望がありますか。

【 1. 希望がある 2. 希望があるが予定はない 3. 希望はない 】

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

(2) 母親

1. 就労している(フルタイム;産休・育休・介護休業中は含まない)

1週間当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。

【 1週間当たり( )時間 ・ 帰宅時間 ( : ) 】

2. 就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)  
3. 就労している(パートタイム、アルバイト等)

就労時間についてお伺いします。

【 1週間当たり( )日 ・ 1日当たり( )時間 】

フルタイムへの転換希望がありますか。

【 1.希望がある 2.希望があるが予定はない 3.希望はない 】

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない  
5. これまでに就労したことがない

問8 問7(2)母親で「4」または「5」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は問9へお進みください。

母親の就労希望はありますか。( は1つ)

- |                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)         | 問8 -1へ |
| 2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい) | 問8 -1へ |
| 3. 無                              | P4の問9へ |

問8-1 問8で「1」、「2」を選ばれた方にお伺いします。就労希望の形態はどのようなものですか。パート、アルバイトを希望の方は1週間当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。( は1つ)

- |  |
|--|
| 1. フルタイムによる就労                                |
| 2. パートタイム、アルバイト等による就労(1週間当たり( )日・1日当たり( )時間) |

問8-2 問8で「1」、「2」を選ばれた方にお伺いします。就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(もっとも近いもの1つに )

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 保育サービス( )が利用できれば就労したい             |
| 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない               |
| 3. 自分の知識、能力にあう仕事がない                  |
| 4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない |
| 5. その他( )                            |

( )この調査において「保育サービス」とは、[認可保育園、認定子ども園、家庭的な保育(いわゆる保育ママ)、事業所内保育施設、市区町村等自治体の認証・認定保育施設、その他の保育施設、幼稚園(通常就園時間)、幼稚園(通常就園時間を延長して預かるサービス)]としています。以下の設問も同様の定義です。サービスの説明については、問10-1を参照してください。

問8-3 問8で「2 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になたときに就労を希望されますか。

( )歳になったとき

**母親のみなさんすべてにお伺いします**

問9 母親は、あて名のお子さんの出産前後(前後それぞれ1年以内)に離職をしましたか。( は1つ)

1. 離職した	問9-1へ
2. 継続的に働いていた(転職も含む)	問10へ
3. 出産1年前にすでに働いていなかった	問10へ

→問9-1 問9で「1.離職した」を選ばれた方にお伺いします。仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(もっとも近いもの1つに )

1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5. いずれにしてもやめていた
6. その他( )

**保育サービスの利用についてお伺いします**

問10 あて名のお子さんの現在の保育サービスの利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していますか。( は1つ)

1. 利用している	問10-1へ
2. 利用していない	問10-4へ

問 10-1 問 10 で「 1 . 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

あて名のお子さんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。（ はいいくつでも）

【日中の定期的保育】

- |  |  |
|--|--|
| 1. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した<br>施設で都道府県等の認可を受けたもの)  | 2. 家庭的な保育<br>(保育ママ：保育者の家庭等で<br>子どもを預かるサービス)                    |
| 3. 事業所内保育施設<br>(企業が従業員用に運営する施設)                    | 4. 自治体の認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)                 |
| 5. 認定こども園<br>【共通利用時間のみ保育の利用】<br>(保育施設と幼稚園が一体化した施設) | 6. 認定こども園<br>【共通利用時間(4時間程度)以上の保育の<br>利用】<br>(保育施設と幼稚園が一体化した施設) |
| 7. その他の保育施設  | 8. 幼稚園(通常就園時間)   |
| 9. 幼稚園の預かり保育<br>(通常就園時間を延長して預かるサービス)               | 10. ベビーシッター  |
| 11. ファミリーサポートセンター<br>(地域住民による子どもの預かりサービス)          |  |

問10-2 問10 -1で「 1 」～「 9 」を選ばれた方にお伺いします。現在の保育サービスの利用状況について、1週間あたり何日、1日あたり何時間(延長保育なども含めます)利用していますか。枠内に具体的な数字でお答えください。(時間は24時間制、何時から何時までも記入 例9:00～18:00)

1週間あたり ( )日 1日あたり( )時間 ( 時～ 時)

問 10-3 問 10 -1で「 1 」～「 9 」を選ばれた方にお伺いします。

サービスを利用されている主な理由は何ですか。( は1つ)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 現在就労している            | 2. 就労予定がある / 求職中である       |
| 3. 家族・親族などを介護しなければならない | 4. 病気や障害を持っている            |
| 5. 学生である               | 6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため |
| 7. その他( )              |                           |

問 10-4 問 10 で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

保育サービスを利用していない主な理由は何ですか。( は1つ)

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため。( )歳くらいになったら預けようと考えている
9. その他( )

### サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします

問 11 あて名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が)足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。( はいくつでも)

#### 【日中の定期的保育】

- |  |  |
|--|--|
| 1. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した<br>施設で都道府県等の認可を受けたもの)  | 2. 家庭的な保育<br>(保育ママ：保育者の家庭等で<br>子どもを預かるサービス)                    |
| 3. 事業所内保育施設<br>(企業が従業員用に運営する施設)                    | 4. 自治体の認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)                 |
| 5. 認定こども園<br>【共通利用時間のみ保育の利用】<br>(保育施設と幼稚園が一体化した施設) | 6. 認定こども園<br>【共通利用時間(4時間程度)以上の保育の<br>利用】<br>(保育施設と幼稚園が一体化した施設) |
| 7. その他の保育施設  | 8. 幼稚園(通常就園時間)   |
| 9. 幼稚園の預かり保育<br>(通常就園時間を延長して預かるサービス)               | 10. 延長保育   |
| 11. ベビーシッター  | 12. ファミリーサポートセンター<br>(地域住民による子どもの預かりサービス)                      |

#### 【その他保育】

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 13. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育<br>所などで一時的に子どもを預かるサービス) | 14. 病児・病後児保育(子どもの病気時の保育) |
|---|--------------------------|

#### 【その他】

15. 特になし

問 11-1 問 11 で「1」～「11」を選ばれた方にお伺いします。今後の利用希望について、1週間当たり何日、1日当たり何時間保育サービス(延長保育なども含めます)を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。(時間は24時間制、何時から何時までも記入 例 9:00～18:00)

選択したサービス番号

1週間当たり( )日 1日当たり( )時間 ( 時～ 時)

選択したサービス番号

1週間当たり( )日 1日当たり( )時間 ( 時～ 時)

問 11-2 問 11 で「1」～「11」を選ばれた方にお伺いします。  
サービスを利用したいと考えている理由は主にどのようなことですか。( は1つ)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している	2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある / 求職中である	4. そのうち就労したいと考えている
5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい	6. 家族・親族などを介護しなければならない
7. 病気や障害を持っている	8. 学生である / 就学したい
9. その他( )	

**あて名のお子さんの土・休日の保育についてお伺いします**

問 12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど(一時的な利用は除きます)の利用希望がありますか。保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。( は1つ)

【土曜日】

1. ほぼ毎週利用したい	} ⇒	利用したい時間帯もお答えください。
2. 月に1～2回は利用したい		( 時から 時まで)
3. 利用希望はない		

【日曜日・祝日】

1. ほぼ毎週利用したい	} ⇒	利用したい時間帯もお答えください。
2. 月に1～2回は利用したい		( 時から 時まで)
3. 利用希望はない		

あて名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします

問 13 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことはありますか。( は1つ)

1. あった

問 13 -1、2へ

2. なかった

問 14へ

問 13-1 問 13で「1」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった場合の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。半日程度についても1日としてカウントしてください。(1～9のあてはまるものすべてに。日数も記入)

問 13-2 問 13 -1で「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方にお伺いします。

その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。下の枠内に日数を記入してください。

- 1. 父親が休んだ ( )日
- 2. 母親が休んだ ( )日
- 3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた ( )日

できれば施設等に預けたい ( )日

- 4. 就労していない保護者がみた ( )日
- 5. 病児・病後児の保育サービスを利用した ( )日  
(保育所で実施しているサービスを含む)
- 6. ベビーシッターを頼んだ ( )日
- 7. ファミリーサポートセンターにお願いした ( )日
- 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ( )日
- 9. その他( ) ( )日



すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします

問 16 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。( は1つ)

1. あった(預け先が見つからなかった場合を含む)	問 16 -1、2 へ
2. なかった	問 17 へ

問 16-1 問 16 で「1」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。(1~5のあてはまるものすべてに 。日数も記入)

↓

1. (同居者を含む)親族・知人に預けた ( )泊
---------------------------

問 16-2 問 16 で「1」を選ばれた方にお伺いします。

その場合の困難度はどの程度でしたか。

(1つに )

↓

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

2. 保育サービス を利用した	( )泊	ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど
3. 仕方なく子どもも同行させた	( )泊	
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( )泊	
5. その他( )	( )泊	

来年度就学予定の児童を持つ保護者の方にお伺いします

問 17 あて名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、学童保育を利用したいと思いますか。【学童保育...保護者が就労しているなどの理由で、放課後に子どもだけで過ごす状況にある、おおむね小学校1年生から4年生までの児童を預かり、その安全性を確保するサービスです。】( は1つ。日数も記入)

- |            |          |
|------------|----------|
| 1. 利用したい   | 週( )日くらい |
| 2. 利用予定はない |          |

すべての方に、ベビーシッターの利用についてお伺いします

問 18 ベビーシッターを利用している方にお伺いします。どのような目的で利用していますか。( はいくつでも)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している                |
| 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等) |
| 3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している             |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している   |
| 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している          |
| 6. その他の目的で利用している                     |

問 18-1 どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に( )日くらい	1回当たり( )時間程度
-----------	--------------

すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします

問 19 ファミリーサポートセンターを利用していますか。( は1つ)

1. 利用している

問 19-1、2、3へ

2. 利用していない

問 19-4へ

問 19-1 問 19で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。  
どのような目的で利用していますか。( はいくつでも)

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

問 19-2 問 19で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。  
どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に( )日くらい 1回あたり( )時間程度

問 19-3 問 19で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。利用日数・回数を増やしたいと思  
いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に( )時間くらい利用したい

問 19-4 問 19で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。  
今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に( )時間くらい利用したい

すべての方にお伺いします

問 20 あて名のお子さんは、現在、子ども家庭支援センター事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、子ども家庭支援センターと呼ばれています）を利用していますか。（ は1つ。それぞれおおよその利用回数（頻度）を記入）

1. 子ども家庭支援センター事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）  
1週間当たり（ ）回
2. その他、町で実施している同様の事業（具体名 ）  
1週間当たり（ ）回
3. 利用していない

問21-1へ

問 21 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（ は1つ。それぞれおおよその利用回数（頻度）を記入）

1. 子ども家庭支援センター事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）  
1週間当たり（ ）回利用したい
2. その他、町で実施している同様の事業（具体名 ）  
1週間当たり（ ）回利用したい
3. 特にない

問 21-1 問20で「3. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

現在利用していない主な理由はどのようなことですか。（ は1つ）

- |                                      |                    |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. 利用したいサービスが地域にない                   | 2. 地域のサービスの質に不安がある |
| 3. 地域のサービスの利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい | 4. 利用料がかかる         |
| 5. 自分がサービスの対象者になるのかどうかわからない          | 6. 時間がない           |
| 7. サービスの利用方法（手続き等）がわからない             | 8. その他             |
| 9. 特に理由はない                           |                    |

子育て支援サービスの認知度・利用意向についておうかがいします

問 22 【すべての方におうかがいします】

下記の ~ のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに をおつけください。

サービス名	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
パパ・ママ教室(母親学級・両親学級)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
乳幼児歯科相談	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
福祉保健センターの情報・相談サービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
保育所の園庭等の開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
子ども家庭支援センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
心理相談	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
奥多摩の福祉(子育て編)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
新生児・こんにちは赤ちゃん訪問	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
子育てサロン	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
妊婦健康診査充実事業 (14回分の妊婦健診の補助、助成)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
インフルエンザ予防接種事業 (1～18歳までのインフルエンザ予防接種の助成)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
ファミリーサポートセンター利用助成事業(3～10歳までの10時間分の利用券の配布)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
保育園保育料助成事業 (第2子目以降の保育料全額助成)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
学童保育育成料の助成事業 (ひとり親世帯と多子家庭世帯第3子目の学童保育育成料の助成)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
ひとり親・多子家庭ごみ手数料支援事業 (ごみ手数料の全額助成)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
ひとり親・多子家庭水道料金一部支援事業(水道料金の一部を助成)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
多子家庭世帯高校生通学援助事業 (子どもが3人以上いる世帯の高校生の通学費6ヶ月定期代の1/2を助成)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

## 育児休業制度の利用についてお伺いします

問 23 あて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用しましたか。（ は1つ）

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 母親が利用した       | 問 23-1 へ |
| 2. 父親が利用した       | 問 23-1 へ |
| 3. 母親と父親の両方が利用した | 問 23-1 へ |
| 4. 利用しなかった       | 問 24 へ   |

問 23-1 問 23 で「1～3」を選ばれた方にお伺いします。

育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入下さい。（お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問 23 で「3」と答えた方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。）

子どもは ( )ヶ月だった

問 23-2 問 23 で「1～3」を選ばれた方にお伺いします。

育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。（ は1つ）

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| 1. 育児休業期間を調整せずに利用できた  | 問 24 へ   |
| 2. 育児休業期間を調整したので利用できた | 問 23-3 へ |
| 3. 利用できなかった           | 問 23-4 へ |
| 4. 希望しなかった            | 問 24 へ   |

問 23-3 問 23-2 で「2. 育児休業期間を調整したのでできた」を選ばれた方にお伺いします。

育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。（ は1つ。「2」、「3」は枠内に数字を記入）

1. 変わらない    2. 長くした ( )ヶ月    3. 短くした ( )ヶ月

問 23-4 問 23-2 で「3. できなかった」を選ばれた方にお伺いします。

どのように対応されましたか。（ は1つ）

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 希望とは違う認可保育所を利用した | 2. 事業所内の保育サービスを利用した |
| 3. 上記以外の保育サービスを利用した | 4. 家族等にみてもらうことで対応した |
| 5. 仕事を辞めた           |                     |



## < 就学児童調査票 >

封筒のあて名のお子さんとあなた（回答される方）及びご家族の状況についてお伺いします

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月日をご記入ください。

平成（ ）年（ ）月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

（ ）人 末子の年齢（ ）歳

問3 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（はいいくつでも）

1. 父母同居    2. 父同居（ひとり親家庭）    3. 母同居（ひとり親家庭）    4. 祖父同居  
5. 祖母同居    6. 祖父近居    7. 祖母近居    8. その他（ ）

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（はいいくつでも）

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる  
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる  
5. いずれもない

問4-1 問4で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします。

祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。（はいいくつでも）

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない  
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である  
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
5. その他（ ）

問4-2 問4で「3」または「4」を選ばれた方にお伺いします。

友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。（はいいくつでも）

1. 友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない  
2. 友人や知人の身体的負担が大きく心配である  
3. 友人や知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
5. その他（ ）



(2) 母親

1. 就労している(フルタイム・産休・育休・介護休業中は含まない)

1週間当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。

【 1週間当たり( )時間 ・ 帰宅時間 ( : ) 】

2. 就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)  
3. 就労している(パートタイム、アルバイト等)

就労時間についてお伺いします。

【 1週間当たり( )日 ・ 1日当たり( )時間 】

フルタイムへの転換希望がありますか。

【 1. 希望がある 2. 希望があるが予定はない 3. 希望はない 】

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない  
5. これまでに就労したことがない

問8 問7(2)母親で「4」または「5」を選ばれた方にお伺いします。  
母親の就労希望はありますか。( は1つ)

- |                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)         | 問8 -1へ |
| 2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい) | 問8 -1へ |
| 3. 無                              | 問9へ    |

問8-1 問8で「1」、「2」を選ばれた方にお伺いします。就労希望の形態はどのようなものですか。パート、アルバイトを希望の方は1週間当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。( は1つ)

- |  |
|--|
| 1. フルタイムによる就労                                |
| 2. パートタイム、アルバイト等による就労(1週間当たり( )日・1日当たり( )時間) |

問8-2 問8で「1」、「2」を選ばれた方にお伺いします。就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(もっとも近いもの1つに )

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 学童保育などのサービスが利用できれば就労したい           |
| 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない               |
| 3. 自分の知識、能力にあう仕事がない                  |
| 4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない |
| 5. その他( )                            |





問 10 あて名のお子さんについてお伺いします。小学5年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。( は1つ)

1. 学童保育を利用したい ( 1. を選ばれた方 ) 小学 ( ) 年生まで利用したい 2. 放課後子ども教室を利用したい 3. クラブ活動など習い事をさせたい 4. 利用を希望するサービスは特にな 5. その他 ( )
--

**あて名のお子さんの病児・病後児の対応についてお伺いします**

問 11 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。( は1つ)

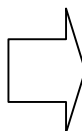
1. あった	問 11 -1、 2 へ
2. なかった	問 12 へ

問 11-1 問 11 で「 1 」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童保育などの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。半日程度についても1日としてカウントしてください。( 1 ~ 9 のあてはまるものすべてに 。日数も記入)

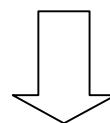


1. 父親が休んだ	( ) 日
2. 母親が休んだ	( ) 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	( ) 日



問 11-2 問 11 で「 1 」を選ばれた方にお伺いします。


「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方にお伺いします。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。



できれば施設等に預けたい ( ) 日
--------------------

4. 就労していない保護者がみた	( ) 日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育園で実施しているサービスを含む)	( ) 日
6. ベビーシッターを頼んだ	( ) 日
7. ファミリーサポートセンターにお願いした (地域住民による子どもの預かりサービス)	( ) 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( ) 日
9. その他 ( )	( ) 日

問 12 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。半日程度についても1日としてカウントしてください。（ は1つ。日数も記入）

1. ある	年間（	）日				
			(理由別)			
				1. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的（	）日	
				2. 冠婚葬祭、子どもの親の病気	（	）日
				3. 就労	（	）日
2. ない						

問 13 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に（                      ）日くらい
--------------------------------

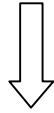
**あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします**

問 14 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならぬことはありましたか。（ は1つ）

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）	問 14 -1、2へ
2. なかった	問 15へ

問 14-1 問 14 で「1」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。(はいくつでも、それぞれの日数を記入)



1. (同居者を含む) 親族・知人 に預けた ( )泊
-----------------------------------

問 14-2 問 14 で「1」を選ばれた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに )



1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

2. 保育サービス を利用した	( )泊	ショートステイ事業を実施
3. 仕方なく子どもも同行させた	( )泊	している施設、認可外保育
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( )泊	施設、ベビーシッターなど
5. その他( )	( )泊	

すべての方に、ベビーシッターの利用についてお伺いします

問 15 ベビーシッターを利用している方にお伺いします。どのような目的で利用していますか。(はいくつでも)

1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
4. その他の目的で利用している

問 15-1 どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に( )日くらい 1回当たり( )時間程度

問 16 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に( )日くらい

問 17 ファミリーサポートセンターを利用していますか。( は1つ)

1. 利用している

問 17 -1、 2、 3へ

2. 利用していない

問 17 -4へ

問 17-1 問 17で「1」を選ばれた方にお伺いします。どのような目的で利用していますか。( はいくつでも)

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

問 17-2 問 17で「1」を選ばれた方にお伺いします。

どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に( )日くらい

1回当たり( )時間程度

問 17-3 問 17で「1」を選ばれた方にお伺いします。利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に( )時間くらい利用したい

問 17-4 問 17で「2」を選ばれた方にお伺いします。

今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に( )時間くらい利用したい





問7で2を選択した方にお尋ねします。

問7 - 1 その理由をお答えください。

問8 あなたは、日頃の生活の中で、時間にゆとりがある方だと思いますか。（は1つだけ）

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 1. 十分ある   | 2. ある程度ある  | 3. あまりない |
| 4. ほとんどない | 5. よくわからない |          |

問8で3か4を選択した方にお尋ねします。

問8 - 1 その理由をお答えください。

**奥多摩町のことをおたずねします。**

問9 奥多摩町のイメージを簡単にお答えください。（下記に具体的に記載してください。）

問10 奥多摩町に住んでいて良かったと思うことはありますか。（は1つだけ）

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 良かったと思う | 2. 思わない |
|------------|---------|

問10で1を選択した方にお尋ねします。

問10 - 1 どのようなときに思いますか？具体的に記入してください。

問11 奥多摩町に住んでいて不便に感じますか。( は1つだけ)

1. 感じない

2. 感じる

問11で2を選択した方にお尋ねします。

問11-1 どのようなときに感じますか?具体的に記入してください。

問12 奥多摩町に住んでいて困ったことはありますか。( は1つだけ)

1. ある

2. ない

問12で1を選択した方にお尋ねします。

問12-1 どのようなときにありましたか?具体的に記入してください。

問13 奥多摩町に住み続けたいと思いますか。( は1つだけ)

1. 思う

2. 思わない

3. わからない

4. その他( )

問13で1か2を選択した方にお尋ねします。

問13-1 その理由をお答えください。

問14 奥多摩町でボランティア活動に参加したことはありますか。

1. ある

2. ない



奥多摩町次世代育成支援行動計画に係る  
アンケート調査報告書

発行 奥多摩町

編集 奥多摩町福祉保健課

〒198 - 0212

東京都西多摩郡奥多摩町氷川1111

電話 0428 -83 -2777

FAX 0428 -83 -2833